学生の手引

２０１８
保健学専攻
（博士前期課程）

金沢大学大学院医薬保健学総合研究科

保健学専攻（博士前期課程）

は　じ　め　に

この「学生の手引」は，学生の皆さんが保健学専攻に入学してから修了するまでの修学・学生生活上の手引きです。また「大学院便覧」にも有用な情報が掲載されていますので，修了までなくさないようにしてください。不明な点があれば問い合わせてください。
本書を大いに活用して，充実した研究活動を送ることを願っています。

学務係

電話（076）265-2514～２５１７
e-mail　t-igaku2@adm.kanazawa-u.ac.jp

保健学専攻学生の手引　目次

○　保健学専攻（博士前期課程）のＣＰ・ＤＰについて‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　１

○　金沢大学における国際化への取組と英語学修について　２

○　博士前期課程　授業科目一覧‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　３

○　平成３０年度授業時間割表‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　７

○　保健学専攻博士前期課程の研究指導等について‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　９

○　博士前期課程の履修方法に関する細則‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　１１

○　博士前期課程学生の学位請求に関する細則‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　１４

○　保健学専攻（博士前期課程）学生の早期修了に係る申合せ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　１６

○　保健学専攻における長期履修に関する申合せ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　１８

○　授業科目履修計画表 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　２０

○　院生カルテ ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　２１

○　その他学修関係･学生生活関係について ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　２３

○　図書室利用案内‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　２８

○　北陸高度がんプロ養成コースについて‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　３６

○　宝町・鶴間キャンパスマップ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　４２

保健学専攻（博士前期課程）のカリキュラム・ポリシー，ディプロマ・ポリシーについて

大学院医薬保健学総合研究科は「医学，薬学及び保健学の教育，研究及び診療を通して，地域貢献，世界への情報発信並びに優秀な高度医療人，研究者及び専門的職業人を養成及び排出する」ことを目的としている。

本研究科には５年の博士課程として保健学専攻が設置され，前期２年の課程（博士前期課程）と後期３年の課程（博士後期課程）に区分される。保健学専攻（博士前期課程）においては，上記目標の達成のため，以下に示すとおり教育課程編成方針を定め，それに応じた学位授与方針を定めている。

● 保健学専攻のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

・看護科学，医療科学，リハビリテーション科学における高度専門職業人の養成と，博士後期課程との一貫教育により保健学における教育者・研究者の育成を目標とする。
・保健学に関する豊かで幅広い学識と問題解決能力を有する高度専門医療人を目指す。
・看護科学領域，医療科学領域，リハビリテーション科学領域における教育者・研究者を目指す。
・高度化，多様化した保健・医療・福祉を支える高度で知的な素養のある医療人を目指す。

上記の目標達成のために，保健学共通科目，領域共通科目を必修とし，他分野の科目も履修した上で，専門分野の科目と課題研究によりカリキュラムを編成する。

● 保健学専攻のディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

・保健学の広い領域にも学識豊富であり，専門分野における知識，技能に優れ，課題研究により新たな知見を見いだす事ができる。
・高度先端保健医療の開発能力とともに，生命の尊厳と保健医療に対する倫理観と責任感にあふれ，種々の医療分野の専門職と連携し，高度の医療技術を駆使したチーム医療を実践できる。

以上の人材養成目標を達成し，かつ全人的医療を担える高度専門医療人および保健学分野における教育者・研究者として期待できる者に修士（保健学）の学位を授与する。

金沢大学における国際化への取組と英語学修について

社会のグローバル化が急速に進むなか，さまざまな場でグローバルに活躍できる人材の育成が，急務となっています。世界各国でこうした高度人材の育成が戦略的に進められる今，日本の大学においても，グローバルリーダー育成のための体制強化が求められています。また，大学院生にとっては研究を行う上で，英語が重要なスキルであることや海外での学修が貴重な経験となることについては言うまでもありません。

こうした背景から，金沢大学では，「徹底した国際化による，グローバル社会を牽引する人材育成と金沢大学ブランドの確立」をテーマにスーパーグローバル大学創成支援（SGU）事業など各種取組を進めており，平成 35 年度までにTOEIC760 点又はTOEFL-iBT80 点相当の学生が大学院課程の 85%以上とすることや，平成 33 年度までに海外学修体験の人数を 270 人以上とするなどの目標に掲げています。

本学では学生の皆さんへの英語学習の継続的強化を目的とし，学類における複数の言語科目の開講や授業科目の英語化を進めるとともに，海外での学修体験を推奨するため，海外留学をはじめとした海外体験活動の支援等を実施しています。

みなさんの英語能力強化の一環として，平成 30 年度以降に博士前期課程（修士課程）に入学する原則全員に，英語の外部検定試験を在学中に受験する制度を設けました。

なお，金沢大学では英語学習のためのE-Learning 講座，個別相談による学習支援等皆さんの継続的な英語学習に向けたサポートを実施していますので是非ご利用ください。

領域	講座	教育研究分野	授業科目	時間割番号	担当教員	単位	時間	開講時期
大学院ＧＳ科目			研究者倫理	03601	黒川，稲垣	1	15	１年第１Ｑor ２年第１Ｑ
			保健学研究概論	03602	稲垣，大桑，城戸，毎田，市川，櫻井， 三秋，砂原	1	15	１年第２Ｑor ２年第２Ｑ
			保健学研究方法論（基礎）	03603	岡本(成)，中谷，川井，小野口，北村， 笠島，細，米田	1	15	１年第３Ｑor ２年第３Ｑ
			保健学研究方法論（臨床）	03604	表，大桑，加藤，城戸，小林(聡)， 稲津，中川，武田	1	15	１年第４Ｑor ２年第４Ｑ
保健学専攻共通科目			臨床心理学特論	03003	五十嵐	2	30	１年後期
			福祉行政学特論	03004	山下	2	30	１年後期
			医療経済学特論	03005	長友	2	30	１年後期
			医療統計学特論	03006	井上	2	30	１年後期
			臨地マネ―ジメント演習	注釈参照	各教員	4	60	全学期
			予防医学概論	03009	中村，稲垣	4	60	１年後期
			保健学研究方法論Ⅱ	03010	小野口，中谷，城戸，須釜，加藤， 武村，田中(利)，森下，笠島，關谷， 中川，稲岡，柴田，西村	2	30	１年後期
看護科学領域共通科目			看護学研究方法特論Ⅰ	03105	表，稲垣，大桑，加藤，塚崎，津田， 藤野，岡本(理)，鏡，栁原	1	15	１年第１Ｑ
			看護学研究方法特論Ⅱ	03106	表，城戸，田淵，毎田，中谷，須釜， 河村，谷口，多﨑	1	15	１年第２Ｑ
			生体機能学特論	03102	中谷，城戸，藤野	2	30	１年前期
			看護理論特論	03103	稲垣，谷口	1	15	１年第１Ｑ
			看護管理特論	03104	稲垣，田淵，他	2	30	１年後期
			看護教育特論	03107	加藤，大桑，多﨑，足立，稲垣	1	15	１年第２Ｑ
臨床実践看護学	慢性・創傷看護技術学		創傷看護技術学特論	03111	須釜，中谷，大桑	2	30	１年前期
			創傷看護技術学演習	03112	須釜，中谷，大桑，臺，大貝，小林(正)	4	60	１年後期
			慢性・終末期看護技術学特論	03113	稲垣，栁原，藤野，多﨑	2	30	１年前期
			慢性・終末期看護技術学演習	03114	稲垣，栁原，藤野，多﨑	4	60	１年後期
			慢性・創傷看護技術学課題研究	03131	稲垣，中谷，須釜，大桑，多﨑，栁原	10	300	２年前～後期
	老年リハビリテーション・精神看護学		老年・リハビリテーション看護学特論	03125	加藤，谷口，正源寺	2	30	１年前期
			老年・リハビリテーション看護学演習	03126	加藤，谷口，正源寺	4	60	１年後期
			精神看護学特論	03123	河村	2	30	１年前期
			精神看護学演習	03124	河村	4	60	１年後期
			老年ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ・精神看護学課題研究	03133	加藤，河村	10	300	２年前～後期

※詳細な開講時間帯は，授業時間割表で確認すること。
※講義内容は，金沢大学SYLLABUS（https://eduweb.sta.kanazawa-u.ac.jp/portal/Public/Syllabus/SearchMain.aspx）を参照すること。
※この表において「前期」とは４月～９月期を，「後期」とは１０月～３月期をさします。なお，「第１Ｑ」とは前期前半（第１クォーター），「第２Ｑ」とは前期後半（第２クォーター），「第３Ｑ」とは後期前半（第３クォーター），「第４Ｑ」とは後期後半（第４クォーター）をさします。

領域	講座	教育研究分野	授業科目	時間割番号	担当教員	単位	時間	開講時期
看護科学	健康発達看護学	女性・小児環境発達学	女性発達看護学特論	03141	田淵，毎田，鏡	2	30	1年前期
			女性発達看護学演習	03142	田淵，毎田，鏡	4	60	1年後期
			小児環境発達学特論	03143	津田	2	30	1年前期
			小児環境発達学演習	03144	津田	4	60	1年後期
			女性・小児環境発達学課題研究	03161	田淵，毎田，津田，鏡	10	300	2年前～後期
		助産学	助産学特論	03171	田淵，毎田，鏡	2	30	1年前期
			助産学演習	03172	田淵，毎田，鏡	4	60	1年後期
			助産学課題研究	03191	田淵，毎田，鏡	10	300	2年前～後期
			助産学概論	03173	田淵，毎田，鏡	2	30	1年前期
			ローリスク助産診断学	03174	田淵，毎田，鏡	2	30	1年前期
			ハイリスク助産実践・応用学	03175	田淵，毎田，鏡	2	30	1年前期
			国際助産学	03192	田淵，鏡	1	15	1年後期
			出産教育・コンサルテーション	03177	田淵，鏡	2	30	1年後期
			助産管理学	03193	田淵，鏡	2	30	1年後期
			周産期助産診断演習Ⅰ	03194	田淵，鏡，小西	2	60	1年前～後期
			周産期助産診断演習Ⅱ	03195	田淵，毎田，鏡，小西	4	120	1年前～後期
			助産学実習Ⅰ	03196	田淵，毎田，鏡，小西	4	180	1年前期～2年前期
			助産学実習Ⅱ	03182	田淵，毎田，鏡，小西	4	180	1年後期
			助産学実習Ⅲ	03197	田淵，毎田，鏡，小西	2	90	1年後期～2年前期
			助産管理実習	03198	田淵，鏡，小西	2	90	1年後期～2年前期
			国際・比較助産実習	03199	田淵，毎田，鏡，小西	2	90	1年
		公衆衛生・在宅看護学	公衆衛生・在宅看護学特論	03153	塚崎，城戸，表，岡本(理)，京田，市森，板谷	2	30	1年前期
			公衆衛生・在宅看護学演習	03154	塚崎，城戸，表，岡本(理)，京田，市森，板谷	4	60	1年後期
			公衆衛生・在宅看護学課題研究	03163	塚崎，城戸，表，岡本(理)	10	300	2年前～後期

※詳細な開講時間帯は，授業時間割表で確認すること。
※講義内容は，金沢大学SYLLABUS（https://eduweb.sta.kanazawa-u.ac.jp/portal/Public/Syllabus/SearchMain.aspx）を参照すること。
※この表において「前期」とは４月～９月期を，「後期」とは１０月～３月期をさします。なお，「第１Ｑ」とは前期前半（第１クォーター），「第２Ｑ」とは前期後半（第２クォーター），「第３Ｑ」とは後期前半（第３クォーター），「第４Ｑ」とは後期後半（第４クォーター）をさします。

領域	講座	教育研究分野	授業科目	時間割番号	担当教員	単位	時間	開講時期
医科学	医療科学領域共通科目		医用放射線科学研究方法論	03301	川井，小野口，宮地，市川，川島(博)，小林(聡)，武村，岡本(博)，中山，松原，田中(利)，林，大野，川嶋(広)，澁谷	1	15	１年第１Ｑ
			医用検査科学研究方法論	03302	稲津，本多，櫻井，森下，岡本(成)，北村，関根，古荘，笠島，杉谷，本間，關谷，尾崎，白崎，片桐	1	15	１年第２Ｑ
			医学物理学特論	03303	武村，小野口，宮地，市川，中山，松原，田中(利)	2	30	１年後期
	量子医療技術学	機能画像解析学	放射線画像構築学特論	03311	市川，岡本(博)，田中(利)，林，川嶋(広)	2	30	１年前期
			放射線画像構築学演習	03312	市川，岡本(博)，田中(利)，林，川嶋(広)	4	60	１年後期
			生体機能解析学特論	03313	川井，小林(正)	2	30	１年前期
			生体機能解析学演習	03314	川井，小林(正)	4	60	１年後期
			生体画像情報学特論	03315	宮地，中山，大野	2	30	１年前期
			生体画像情報学演習	03316	宮地，中山，大野	4	60	１年後期
			機能画像解析学課題研究	03331	川井，宮地，市川，岡本(博)，中山，田中(利)，林	10	300	２年前～後期
		量子診療技術学	臨床画像技術学特論	03321	川島(博)，小林(聡)	2	30	１年前期
			臨床画像技術学演習	03322	川島(博)，小林(聡)	4	60	１年後期
			放射線治療安全技術学特論	03323	武村，松原	2	30	１年前期
			放射線治療安全技術学演習	03324	武村，松原	4	60	１年後期
			病態核医学画像技術学特論	03325	小野口，澁谷	2	30	１年前期
			病態核医学画像技術学演習	03326	小野口，澁谷	4	60	１年後期
			量子診療技術学課題研究	03332	小野口，川島(博)，小林(聡)，武村，松原	10	300	２年前～後期
	病態検査学	分子生物検査学	感染病原因子学特論	03343	岡本(成)，杉谷	2	30	１年前期
			感染病原因子学演習	03344	岡本(成)，杉谷	4	60	１年後期
			医用工学特論	03341	北村，関根，古荘	2	30	１年前期
			医用工学演習	03342	北村，関根，古荘	4	60	１年後期
			生命情報処理学特論	03345	稲津，本間	2	30	１年前期
			生命情報処理学演習	03346	稲津，本間	4	60	１年後期
			分子生物検査学課題研究	03361	稲津，岡本(成)，関根，北村，古荘	10	300	２年前～後期
		腫瘍検査学	血液免疫病態学特論	03351	森下，關谷，片桐	2	30	１年前期
			血液免疫病態学演習	03352	森下，關谷，片桐	4	60	１年後期
			腫瘍分子生物学特論	03353	本多，櫻井，尾崎，白崎	2	30	１年前期
			腫瘍分子生物学演習	03354	本多，櫻井，尾崎，白崎	4	60	１年後期
			臨地マネージメント病理演習	03355	笠島，尾崎	4	60	１年前期
			細胞診断学演習	03356	笠島，尾崎	4	60	１年後期
			腫瘍検査学課題研究	03362	本多，櫻井，森下，笠島	10	300	２年前～後期

※詳細な開講時間帯は，授業時間割表で確認すること。
※講義内容は，金沢大学SYLLABUS（https://eduweb.sta.kanazawa-u.ac.jp/portal/Public/Syllabus/SearchMain.aspx）を参照すること。
※この表において「前期」とは４月～９月期を，「後期」とは１０月～３月期をさします。なお，「第１Ｑ」とは前期前半（第１クォーター），「第２Ｑ」とは前期後半（第２クォーター），「第３Ｑ」とは後期前半（第３クォーター），「第４Ｑ」とは後期後半（第４クォーター）をさします。

領域	講座	教育研究分野	授業科目	時間割番号	担当教員	単位	時間	開講時期
リハビリテーション科学	リハビリテーション科学領域共通科目		理学療法学研究方法論	03501	細，淺井，山崎，山下，三秋，横川，田中，松﨑，間所	1	15	1年第1Q
			作業療法学研究方法論	03502	少作，染矢，柴田，西村，砂原，米田	1	15	1年第1Q
	理学療法科学	障害解析学	障害評価学特論	03511	細，中川，山下，三秋，田中，松﨑	2	30	1年前期
			障害評価学演習	03512	細，中川，三秋，田中，松﨑	4	60	1年後期
			機能回復学特論	03513	淺井，山崎，横川，間所	2	30	1年前期
			機能回復学演習	03514	淺井，山崎，横川，間所	4	60	1年後期
			障害解析学課題研究	03521	細，淺井，山崎，中川，三秋，横川	10	300	2年前～後期
	作業療法科学	機能・能力回復学	生理機能解析学特論	03531	染矢，少作，米田，菊池	2	30	1年前期
			生理機能解析学演習	03532	染矢，少作，米田，菊池	4	60	1年後期
			作業能力回復学特論	03533	柴田，西村，砂原，中嶋，武田	2	30	1年前期
			作業能力回復学演習	03534	柴田，西村，砂原，中嶋，武田	4	60	1年後期
			機能・能力回復学課題研究	03541	染矢，少作，柴田，西村，砂原，米田	10	300	2年前～後期

※詳細な開講時間帯は，授業時間割表で確認すること。
※講義内容は，金沢大学SYLLABUS（https://eduweb.sta.kanazawa-u.ac.jp/portal/Public/Syllabus/SearchMain.aspx）を参照すること。
※この表において「前期」とは4月～9月期を，「後期」とは10月～3月期をさします。なお，「第1Q」とは前期前半（第1クォーター），「第2Q」とは前期後半（第2クォーター），「第3Q」とは後期前半（第3クォーター），「第4Q」とは後期後半（第4クォーター）をさします。

平成30年度/前期（第1Q，第2Q）　保健学専攻授業時間割表（博士前期課程）

曜日	領域	講座	1限 8:45 ～ 10:15 授業科目名・担当教員	2限 10:30 ～ 12:00 授業科目名・担当教員	3限 13:00 ～ 14:30 授業科目名・担当教員	4限 14:45 ～ 16:15 授業科目名・担当教員	5限 16:30 ～ 18:00 授業科目名・担当教員	6限 18:10 ～ 19:40 授業科目名・担当教員	7限 19:50 ～ 21:20 授業科目名・担当教員
月	GS･専攻共通						研究者倫理（第1Q） 黒川，稲垣　4111	研究者倫理（第1Q） 黒川，稲垣　4111	
							保健学研究概論（第2Q） 稲垣，大桑，城戸，毎田， 市川，櫻井，三秋，砂原　4111	保健学研究概論（第2Q） 稲垣，大桑，城戸，毎田， 市川，櫻井，三秋，砂原　4111	
	領域共通						医用検査科学研究方法論（第2Q） 稲津，本多，櫻井，森下， 岡本(成)，北村，関根，古荘， 笠島，杉谷，本間，關谷， 尾崎，白崎，片桐　5104	医用検査科学研究方法論（第2Q） 稲津，本多，櫻井，森下， 岡本(成)，北村，関根，古荘， 笠島，杉谷，本間，關谷， 尾崎，白崎，片桐　5104	
	看護科学	臨床							
		健康	助産学実習Ⅲ(2年次配当科目) 田淵，毎田，鏡，小西	助産学概論 田淵，毎田，鏡　5208					小児環境発達学特論 津田　1508
	医療科学	量子					生体機能解析学特論 川井，小林(正)　3107		臨床画像技術学特論 川島(博)，小林(聡)　4108
									生体機能解析学特論 川井，小林(正)　3107
		病態			生命情報処理学特論 稲津，本間　5301				生命情報処理学特論 稲津，本間　5301
	リハビリテーション科学	理学					機能回復学特論 淺井，山崎，横川，間所　2102		
		作業							
火	GS･専攻共通								
	領域共通					生体機能学特論 中谷，城戸，藤野　1301	看護学研究方法特論Ⅰ(第1Q) 表，稲垣，大桑，加藤，塚崎， 津田，藤野，岡本(理)， 鏡，柳原　5208	看護学研究方法特論Ⅰ(第1Q) 表，稲垣，大桑，加藤，塚崎， 津田，藤野，岡本(理)， 鏡，柳原　5208	
							看護学研究方法特論Ⅱ(第2Q) 表，城戸，田淵，毎田，中谷， 須釜，河村，谷口，多﨑　5208	看護学研究方法特論Ⅱ(第2Q) 表，城戸，田淵，毎田，中谷， 須釜，河村，谷口，多﨑　5208	
	看護科学	臨床		精神看護学特論 河村　5209					精神看護学特論 河村　5208
		健康	ローリスク助産診断学 田淵，毎田，鏡　5208,3311		周産期助産診断演習Ⅰ 田淵，鏡，小西　5208，1404				
	医療科学	量子					生体画像情報学特論 宮地，中山，大野　3107	生体画像情報学特論 宮地，中山，大野　3107	病態核医学画像技術学特論 小野口，澁谷　3107
		病態	腫瘍分子生物学特論 本多，櫻井，尾崎，白崎　5301					腫瘍分子生物学特論 本多，櫻井，尾崎，白崎　5301	
	リハビリテーション科学	理学							
		作業				生理機能解析学特論 染矢，少作，米田，菊池　2101		生理機能解析学特論 染矢，少作，米田，菊池　2314	
水	GS･専攻共通								
	領域共通						看護理論特論（第1Q） 稲垣，谷口　5208	看護理論特論（第1Q） 稲垣，谷口　5208	
							看護教育特論（第2Q） 加藤，大桑， 多﨑，足立，稲垣 5208	看護教育特論（第2Q） 加藤，大桑， 多﨑，足立，稲垣 5208	
						作業療法学研究方法論（第1Q） 少作，染矢，柴田， 西村，砂原，米田 2314		作業療法学研究方法論（第1Q） 少作，染矢，柴田， 西村，砂原，米田 2314	
	看護科学	臨床							
		健康	小児環境発達学特論 津田　1508						
			ハイリスク助産実践・応用学 田淵，毎田，鏡　5208,3311	助産学特論 田淵，毎田，鏡　5208					
	医療科学	量子	放射線治療安全技術学特論 武村，松原 5211						放射線治療安全技術学特論 武村，松原 5211
		病態							医用工学特論 北村，関根，古荘　5301
	リハビリテーション科学	理学			障害評価学特論 細，中川，山下，三秋， 田中，松﨑　2101			障害評価学特論 細，中川，山下，三秋， 田中，松﨑　2102	
		作業					作業能力回復学特論 柴田，西村，砂原，中嶋，武田 2314		作業能力回復学特論 柴田，西村，砂原，中嶋，武田 2314
木	GS･専攻共通								
	領域共通						医用放射線科学研究方法論（第1Q） 川井，小野口，宮地，市川， 川島(博)，小林(聡)，武村， 岡本(博)，中山，松原， 田中(利)，林，大野，川嶋(広)， 澁谷 5104	医用放射線科学研究方法論（第1Q） 川井，小野口，宮地，市川， 川島(博)，小林(聡)，武村， 岡本(博)，中山，松原， 田中(利)，林，大野，川嶋(広)， 澁谷 5104	
								生体機能学特論 中谷，城戸，藤野　1301	
	看護科学	臨床					老年・リハビリテーション看護学特論 加藤，谷口，正源寺　4305	老年・リハビリテーション看護学特論 加藤，谷口，正源寺　4305	
		健康	周産期助産診断演習Ⅱ 田淵，毎田，鏡，小西　5208，3311		助産学実習Ⅰ（1年） 田淵，毎田，鏡，小西		女性発達看護学特論 田淵，毎田，鏡　5208	女性発達看護学特論 田淵，毎田，鏡　5208	
	医療科学	量子							
		病態			医用工学特論 北村，関根，古荘　5301	血液免疫病態学特論 森下，關谷，片桐 5301		血液免疫病態学特論 森下，關谷，片桐　5301	
	リハビリテーション科学	理学							
		作業							
金	GS･専攻共通								
	領域共通						理学療法学研究方法論（第1Q） 細，淺井，山崎，山下，三秋， 横川，田中，松﨑，間所　2314	理学療法学研究方法論（第1Q） 細，淺井，山崎，山下，三秋， 横川，田中，松﨑，間所　2314	
	看護科学	臨床				創傷看護技術学特論 大桑，須釜，中谷 4108	慢性・終末期看護技術学特論 稲垣，柳原，藤野，多﨑 5209	慢性・終末期看護技術学特論 稲垣，柳原，藤野，多﨑 5209	
								創傷看護技術学特論 須釜，中谷，大桑 4108	
		健康	助産学実習Ⅰ（2年） 田淵，毎田，鏡，小西		助産管理実習（2年） 田淵，鏡，小西		公衆衛生・在宅看護学特論 塚崎，城戸，表，岡本（理）， 京田，市森，板谷 5208	公衆衛生・在宅看護学特論 塚崎，城戸，表，岡本（理）， 京田，市森，板谷 5208	
	医療科学	量子	臨床画像技術学特論 川島(博)，小林(聡)　3107	病態核医学画像技術学特論 小野口，澁谷　3107		放射線画像構築学特論 市川，岡本(博)，田中(利)， 林，川嶋(広)　3107			放射線画像構築学特論 市川，岡本(博)，田中(利)， 林，川嶋(広) 3107
		病態			感染病原因子学特論 岡本（成），杉谷　5301				感染病原因子学特論 岡本（成），杉谷　5301
	リハビリテーション科学	理学							機能回復学特論 淺井，山崎，横川，間所　2314
		作業							

【注意事項】

１）担当教員名の横の数字は，講義室等を表します。未記入の科目については，担当教員に確認してください。

２）保健学専攻共通科目「臨地マネージメント演習」は，1～2年次に開講します。詳細は指導教員に確認してください。

３）「臨地マネージメント演習」は別途掲示する時間割番号を参照の上，履修登録をしてください。

４）「臨地マネージメント病理演習」の履修希望者は事前に必ず担当教員に相談してください。詳細は後日連絡します。

５）各分野開講の「課題研究（２年次配当科目）」の時間割については各指導教員と相談して決めてください。

６）「助産学概論」「ローリスク助産診断学」「ハイリスク助産実践・応用学」「周産期助産診断演習Ⅰ」「周産期助産診断演習Ⅱ」についての詳細は指導教員に確認してください。

７）「助産学実習Ⅰ」「助産学実習Ⅲ」「助産管理実習」（田淵・毎田・鏡・小西）は，集中で行います。詳細は担当教員に確認してください。

８）時間割科目の※の科目は，同一週で分割して行う授業であり，単位の分割はできないので注意してください。

平成30年度/後期（第3Q，第4Q）　保健学専攻授業時間割表（博士前期課程）

曜日	領域	講座	1限 8:45 ～ 10:15 授業科目名・担当教員	2限 10:30 ～ 12:00 授業科目名・担当教員	3限 13:00 ～ 14:30 授業科目名・担当教員	4限 14:45 ～ 16:15 授業科目名・担当教員	5限 16:30 ～ 18:00 授業科目名・担当教員	6限 18:10 ～ 19:40 授業科目名・担当教員	7限 19:50 ～ 21:20 授業科目名・担当教員
月	GS･専攻共通								
	領域共通								
	看護科学	臨床						慢性・終末期看護技術学演習 稲垣，柳原，藤野，多﨑　5209	
		健康	助産学演習 田淵，毎田，鏡　5208		女性発達看護学演習 田淵，毎田，鏡　5208		出産教育・コンサルテーション 田淵，鏡　5208		
	医療科学	量子			放射線画像構築学演習 市川，岡本(博)，田中(利)，林，川嶋(広)　3107			臨床画像技術学演習 川島(博)，小林(聡)　3107	
					臨床画像技術学演習 川島(博)，小林(聡)　3107			病態核医学画像技術学演習 小野口，澁谷　3107	
		病態	感染病原因子学演習 岡本(成)，杉谷　講義室未定					感染病原因子学演習 岡本(成)，杉谷　講義室未定	
	リハビリテーション科学	理学	機能回復学演習 淺井，山崎，横川，間所　講義室未定						
		作業							
火	GS･専攻共通						保健学研究方法論（基礎）（第3Q） 岡本(成)，中谷，川井，小野口，北村，笠島，細，米田　4111	保健学研究方法論（基礎）（第3Q） 岡本(成)，中谷，川井，小野口，北村，笠島，細，米田　4111	
							保健学研究方法論（臨床）（第4Q） 表，大桑，加藤，城戸，小林（聡），稲津，中川，武田　4111	保健学研究方法論（臨床）（第4Q） 表，大桑，加藤，城戸，小林（聡），稲津，中川，武田　4111	
	領域共通								
	看護科学	臨床				精神看護学演習 河村 4305		精神看護学演習 河村 4305	
		健康	周産期助産診断演習Ⅰ 田淵，鏡，小西 5208，3311	国際・比較助産実習 田淵，毎田，鏡，小西 5208，3311	小児環境発達学演習 津田 1508			女性発達看護学演習 田淵，毎田，鏡　5208	
					助産学実習Ⅰ(1年次) 田淵，毎田，鏡，小西				
	医療科学	量子							
		病態			生命情報処理学演習 稲津，本間　講義室未定			生命情報処理学演習 稲津，本間	
					医用工学演習 北村，関根，古荘　5301			腫瘍分子生物学演習 本多，櫻井，尾崎，白崎	
								医用工学演習 北村，関根，古荘　5301	
	リハビリテーション科学	理学							
		作業							
水	GS･専攻共通							医療統計学特論 井上 4108	
	領域共通								
	看護科学	臨床							
		健康	国際・比較助産実習 田淵，毎田，鏡，小西 5208		助産学実習Ⅱ 田淵，毎田，鏡，小西 5208			小児環境発達学演習 津田 1508	
	医療科学	量子			放射線治療安全技術学演習 武村，松原 5211			生体画像情報学演習 宮地，中山，大野　3107	
		病態			腫瘍分子生物学演習 本多，櫻井，尾崎，白崎　講義室未定				
	リハビリテーション科学	理学	障害評価学演習 細，中川，三秋，田中，松崎　講義室未定						
		作業					作業能力回復学演習※ 柴田，西村，砂原，中嶋，武田　2314		作業能力回復学演習※ 柴田，西村，砂原，中嶋，武田　5106
木	GS･専攻共通								
	領域共通								
	看護科学	臨床				老年・リハビリテーション看護学演習 加藤，谷口，正源寺 4305		老年・リハビリテーション看護学演習 加藤，谷口，正源寺 4305	
		健康	周産期助産診断演習Ⅱ 田淵，毎田，鏡，小西　5208，3311		助産学実習Ⅱ 田淵，毎田，鏡，小西　5208				
	医療科学	量子	病態核医学画像技術学演習 小野口，澁谷　3107					放射線治療安全技術学演習 武村，松原　5211	
		病態							
	リハビリテーション科学	理学						機能回復学演習 淺井，山崎，横川，間所　講義室未定	
								障害評価学演習 細，中川，三秋，田中，松崎　講義室未定	
		作業					作業能力回復学演習※ 柴田，西村，砂原，中嶋，武田　2102	作業能力回復学演習※ 柴田，西村，砂原，中嶋，武田　2314	
金	GS･専攻共通								
	領域共通								
	看護科学	臨床			慢性・終末期看護技術学演習 稲垣，柳原，藤野，多﨑 5209			創傷看護技術学演習 大桑，須釜，中谷，臺，大貝，小林(正) 4108，3312	
						創傷看護技術学演習 大桑，須釜，中谷，臺，大貝，小林(正) 4108，3312			
		健康	助産管理学 田淵，鏡　5208	国際助産学 田淵，鏡　5208	助産管理実習（1年次） 田淵，鏡，小西	公衆衛生・在宅看護学演習 表，塚崎，城戸，岡本(理)，京田，市森，板谷 5208		公衆衛生・在宅看護学演習 表，塚崎，城戸，岡本(理)，京田，市森，板谷 5208	
						助産学実習Ⅲ 田淵，毎田，鏡，小西			
	医療科学	量子	生体画像情報学演習 宮地，中山，大野　3107		生体機能解析学演習 川井，小林(正) 3107			放射線画像構築学演習 市川，岡本(博)，田中(利)，林，川嶋(広) 3107	
								生体機能解析学演習 川井，小林(正) 3107	
		病態				血液免疫病態学演習 森下，關谷，片桐　講義室未定		血液免疫病態学演習 森下，關谷，片桐　講義室未定	
	リハビリテーション科学	理学							
		作業	生理機能解析学演習※ 染矢，少作，米田，菊池　2302		生理機能解析学演習※ 染矢，少作，米田，菊池　2302			生理機能解析学演習 染矢，少作，米田，菊池　2314	

【注意事項】

１）担当教員名の横の数字は，講義室等を表します。未記入の科目については，担当教員に確認してください。
２）保健学専攻共通科目「臨床心理学特論」（五十嵐），「福祉行政学特論」（山下），「医療経済学特論」（長友）は集中講義として行います。
【予定】「臨床心理学特論」→ 9/15（土），9/16（日），10/6（土），「福祉行政学特論」→ 9/14（金），　9/15（土），9/16（日），「医療経済学特論」→ 8/25（土），8/26（日），9/1（土）
３）保健学専攻共通科目「臨地マネージメント演習」は，1～2年次に開講します。詳細は指導教員に確認してください。（時間割番号は別途掲示でお知らせする番号を登録してください。）
４）保健学専攻共通科目「予防医学概論」（中村，稲垣）は，集中講義として，医学類棟及び保健学類棟で行う予定です。詳細は9月頃，掲示で通知します。
５）保健学専攻共通科目「保健学研究方法論II」は，集中講義として行う予定です。詳細は担当教員に確認してください。
６）医療科学領域共通科目「医学物理学特論」は，集中形式で行います。詳細は後日掲示します。
７）「細胞診断学演習」の詳細は後日掲示で通知します。
８）「出産教育・コンサルテーション」「助産管理学」「周産期助産診断演習Ⅰ」「周産期助産診断演習Ⅱ」についての詳細は，指導教員に確認してください。
９）「周産期助産診断演習Ⅰ」（田淵・鏡・小西）「周産期助産診断演習Ⅱ」（田淵・毎田・鏡・小西）は，1年次前期から1年次後期にかけて行います。詳細は担当教員に確認してください。
10）「助産学実習Ⅰ」「助産学実習Ⅱ」「助産学実習Ⅲ」（田淵・毎田・鏡・小西），「助産管理実習」（田淵・鏡・小西）は、集中形式で行います。詳細は担当教員に確認してください。
11）時間割科目の※の科目は，同一週で分割して行う授業であり，単位の分割はできないので注意してください。
12）看護科学領域共通科目「看護管理特論」は集中講義として行います。詳細は後日掲示します。また「看護管理特論（2単位）」は今年度限りの開講となるので注意すること。

保健学専攻博士前期課程の研究指導等について

１．研究指導体制について

研究指導の充実を図るために複数教員による研究指導を行います。

１）研究指導グループ

① 研究指導グループは，主任指導教員１名，副指導教員１名以上および研究連携協力教員１名の合計３名以上で構成されます。（親族を主任指導教員にすることはできません。）

② 研究指導グループの編成は，教務委員会が調整し，博士課程委員会で決定されます。

③ 指導教員が転出等で不在となったときにも，学生の研究計画遂行に支障を及ぼさないように速やかに後任者を定めて補充するように配慮されます。

２）主任指導教員

① 主任指導教員は，履修計画の作成，研究計画の立案，研究の遂行，学位論文の作成，学位請求などの指導を行います。

② 主任指導教員が指導する学生数については，実質的かつ十分な研究指導が可能であることを考慮します。

３）副指導教員

① 副指導教員は，研究計画，研究進捗状況，学位論文についての助言などの指導を主任指導教員と協力して行います。

② 学生は主任指導教員と相談の上，副指導教員を選んでください。主任指導教員は，学生が研究計画を遂行する上で適切な副指導教員を選ぶように指導します。

４）研究連携協力教員

① 研究連携協力教員は，他の指導教員や学生に対し，研究指導環境全体に関する相談，助言を行います。

② 学生は主任指導教員と相談の上，研究連携協力教員を選んでください。主任指導教員は，適切な研究連携協力教員を選ぶように指導します。

２．研究指導および学位請求手続き

所定の年限（標準修業年限２年）で修了するための研究指導および学位請求のスケジュールは以下の通りです。

① 主任指導予定教員に対し副指導教員および研究連携協力教員の推薦を依頼し，その結果を院生カルテの指導教員欄および研究連携協力教員欄に記入し，副指導教員および研究連携協力教員の承認印を受けた後，指定された期日までに教務委員会へ提出してください。

② 指導教員の指導のもとに授業科目履修計画を作成し，指定された期日までに教務委員会へ提出してください。

③ 指導教員の助言を受け研究計画を立案してください。研究課題を院生カルテに記入し，指定された期日までに教務委員会へ提出してください。

④ 研究計画に従って研究を遂行してください。研究計画に大きな変更があった場合には，指導教員に報告してください。
⑤ 倫理審査が必要な研究内容の場合は，指導教員と相談の上，倫理審査委員会に審査を申請してください。
⑥ 研究成果を指導教員の指導の基に学位論文としてまとめてください。
⑦ 博士前期課程の学位請求に関する細則（後述）に従って，期日までに学位請求手続きを行ってください。
⑧ 学位論文の審査および口述による最終試験を行います。
⑨ 単位修得状況および最終試験の結果に基づき博士課程委員会で最終審査が行われます。合格した場合は，博士前期課程を修了するとともに修士（保健学）の学位が授与されます。

3.早期修了

博士課程委員会が特に優れた業績を上げたと認めたものについては１年以上在学すれば修了することができます。

第7 回博士課程委員会承認
（ 平成２８年１０月5 日開催）

金沢大学大学院医薬保健学総合研究科保健学専攻博士前期課程の履修方法に関する細則

（趣旨）

第1条　医薬保健学総合研究科保健学専攻博士前期課程の履修方法に関しては，金沢大学大学院学則，金沢大学大学院医薬保健学総合研究科規程（以下「研究科規程」という。）に定めるもののほか，この細則の定めるところによるものとする。

（履修方法）

第２条　研究科規程第２０条３項に定める３０単位（看護科学領域助産学分野を除く）は次の区分（別表１）により，履修しなければならない。

(1) 必修科目

ア　大学院ＧＳ科目「研究者倫理」１単位を修得する。

イ　大学院ＧＳ科目「保健学研究概論」,「保健学研究方法論（基礎)」,「保健学研究方法論（臨床)」から２科目２単位を修得する。

ウ　所属する領域が開講する共通科目から１科目１単位を修得する。

エ　所属する大講座の科目から２科目１２単位（特論２単位・課題研究１０単位）を修得する。

オ　所属する大講座の演習科目から１科目４単位（臨地マネージメント演習を含む）を修得する。

(2) 選択科目

ア　保健学専攻が開講する科目，または医薬保健学総合研究科の他の専攻が開講する大学院ＧＳ科目から３科目以上・１０単位を修得する。

イ　学生は本研究科の他の専攻，および本学の他の研究科の授業科目を履修することができる。ただし，各専攻長，各研究科長の許可を受ける必要がある。修得した単位は教授会の議に基づき，保健学専攻の選択科目単位の一部として認定することができる。

２　研究科規程第２０条第３項に定める５９単位（看護科学領域助産学分野）は次の区分（別表２）により履修しなければならない。

(1)　必修科目

ア　大学院ＧＳ科目「研究者倫理」１単位を修得する。

イ　大学院ＧＳ科目「保健学研究概論」,「保健学研究方法論（基礎)」,「保健学研究方法論（臨床)」から２科目２単位を修得する。

ウ　看護科学領域が開講する共通科目から１科目１単位を修得する。

エ　助産学分野の科目から「助産学特論」２単位,「助産学課題研究」１０単位を修得する。

オ　助産学分野の演習科目から「助産学演習」４単位を修得する。

カ　助産学分野専門科目（指定規則）１２科目２９単位を修得する。

(2)　選択科目

保健学専攻の大学院ＧＳ科目，保健学専攻共通科目，看護科学領域共通科目または女性・小児環境発達学分野の科目「女性発達看護学特論」，助産学分野の科目「国際・比較助産実習」から３科目以上・１０単位を修得する。

（教育課程に関する審議）

第３条　学位授与に関する審議は，博士課程委員会で行う

（論文作成・研究指導体制・学位請求手続き）

第４条　論文作成，研究指導体制，学位請求手続き等に関する事項は，別途定めるものとする。

（補則）

第５条　この細則の改正には，博士課程委員会委員の２分の１以上の同意を要する。

附　則

１　この細則は，平成１７年４月１日から施行する。

２　平成１７年３月３１日に在学する者については，なお従前の例による。

附　則

１　この細則は，平成１９年４月１日から施行する。

２　平成１９年３月３１日に在学する者については，なお従前の例による。

附　則

１　この細則は，平成２５年４月１日から施行する。

２　平成２５年３月３１日に在学する者については，なお従前の例による。

附　則

１　この細則は，平成２７年４月１日から施行する。

２　平成２７年３月３１日に在学する者については，なお従前の例による。

附　則

１　この細則は，平成２９年４月１日から施行する。

２　平成２９年３月３１日に在学する者については，なお従前の例による。

別表１

博士前期課程

区　分	履　修　科　目		単　位　数
必　修	大学院ＧＳ科目「研究者倫理」	１科目	１単位
	大学院ＧＳ科目「保健学研究概論，保健学研究方法論（基礎），保健学研究方法論（臨床）」から	２科目	２単位
	所属する領域の共通科目から	１科目	１単位
	所属する大講座の科目から （特論２，課題研究１０）	２科目	１２単位
	所属する大講座から演習科目 （臨地マネージメント演習を含む）	１科目	４単位
選　択	保健学専攻の開講科目，または本研究科の他専攻の大学院ＧＳ科目から 他専攻，または他研究科の開講科目は各専攻長，各研究科長の許可により可能	３科目以上	１０単位
合　計			３０単位

別表２

看護科学領域助産学分野

区　分	履　修　科　目		単　位　数
必　修	大学院ＧＳ科目「研究者倫理」	１科目	１単位
	大学院ＧＳ科目「保健学研究概論，保健学研究方法論（基礎），保健学研究方法論（臨床）」から	２科目	２単位
	看護科学領域の共通科目から	１科目	１単位
	助産学分野の科目から （特論２，課題研究１０）	２科目	１２単位
	助産学分野の演習科目から	１科目	４単位
必　修	助産学分野専門科目（指定規則） （助産学概論２，ローリスク助産診断学２，ハイリスク助産実践・応用学２，国際助産学１，出産教育・コンサルテーション２，助産管理学２，周産期助産診断演習Ⅰ２，周産期助産診断演習Ⅱ４，助産学実習Ⅰ４，助産学実習Ⅱ４，助産学実習Ⅲ２，助産管理実習２）	１２科目	２９単位
選　択	保健学専攻の大学院ＧＳ科目，保健学専攻共通科目，看護科学領域共通科目または女性・小児環境発達学分野の科目「女性発達看護学特論」，助産学分野の科目「国際・比較助産実習」から	３科目以上	１０単位
合　計			５９単位

医薬保健学総合研究科保健学専攻博士前期課程学生の
学位請求に関する細則

（趣旨）

第１条　医薬保健学総合研究科保健学専攻博士前期課程(以下「前期課程」という。）の学位授与に関しては，金沢大学大学院学則，金沢大学学位規程，金沢大学大学院医薬保健学総合研究科規程によるもののほか，この細則による。

（学位論文の提出資格）

第２条　前期課程に２年以上在学し，研究科規程に定める３０単位以上を修得した者は，学位論文を提出することができる。

ただし，在学期間に関しては，優れた研究業績を上げ，博士課程委員会の審査に合格した者は，１年以上在学すれば論文を提出することができる。

（学位論文提出者の提出資格認定）

第３条　学位論文提出者の資格は，主任指導教員の確認により博士課程委員会委員長が認定する。前条に定めた学位論文提出資格者は，学位論文１編を提出し，博士課程委員会に諮り認定する。

（学位論文の提出）

第４条　学位論文の審査を願い出る者は，下記の書類を添えて，保健学務係へ提出する。

（１）学位論文（１部）

論文審査願（指定用紙）

論文目録（指定用紙）

履歴書（指定用紙）

論文要旨（Ａ４用紙で和文にて 2,000 字以内）

英語外部検定試験スコア（写し）（英語外部検定試験に関し必要な事項は，別に定める。）

（２）提出期限は１月第３週金曜日（当日が祭日の場合は前日）とする。ただし，秋季修了者については，７月第４週金曜日（当日が祭日の場合は前日）とする。

（論文の審査）

第５条　受理した学位論文の審査は下記の要領で行う。

（１）　学位論文の審査及び最終試験は，２月末日までに終了するものとする。秋季修了者については８月末日までに終了するものとする。

（２）学位論文の審査員は,博士課程委員会で承認された主査(原則として主任指導教員)と副査１名以上とする。

（３）　学位請求者の親族は，当該学位審査の主査になれない。

（４） 審査員に不測の事態が生じ，審査が不可能となった場合，保健学専攻長が代わりの審査員を指名する。

（５）主査は，1,000 字以内の論文内容の要旨及び審査結果の要旨を作成し，博士課程委員会にて報告する。

（６）最終試験の方法は，審査員全員が合同し，口頭試問により行う。なお最終試験は公開とし，審査員以外の医薬保健学総合研究科教員，大学院生並びに医学研究に携わる関係者が出席して発言することができる。

（７）判定は，審査員全員が適格と認めたものを合格とし，一致をみなかったものを不合格とする。

（学位授与に関する審議）

第６条　学位授与に関する審議は，本学学位規程第１２条により博士課程委員会にて行う。審議には，博士課程委員会構成員の３分の２以上の出席を必要とし，出席した構成員の３分の２以上の多数をもって決するものとする。

（補則）

第７条　本細則の改正には，博士課程委員会の３分の２以上の同意を要する。

附則

この内規は，平成１４年４月１日から施行する。

附則

この細則は，平成２０年１０月１日から施行する。

附則

この細則は，平成２６年８月６日から施行する。

附則

この細則は，平成２８年２月３日から施行する。

附　則

１　この細則は，平成３０年４月１日から施行する。

２　平成３０年３月３１日に在学する者については，なお従前の例による。

医薬保健学総合研究科保健学専攻（博士前期課程）学生の早期修了に係る申合せ

平成２２年６月２日　博士課程委員会承認

（趣旨）

１　この申合せは，金沢大学大学院医薬保健学総合研究科規程第２０条第３項ただし書に規定する優れた業績を上げた者に係る，保健学専攻における在学期間の短縮による課程の修了（以下「早期修了」という。）に関し，対象者の要件及び資格審査に必要な提出書類等について必要な事項を定めるものである。

（早期修了対象者の要件）

２　早期修了において，医薬保健学総合研究科規程第２０条第３項ただし書きに規定する「優れた業績を上げた」とは，次に掲げる要件にすべて該当する状況をいう。

（ア）学位論文以外の論文（以下「参考論文」という。）が１編以上あること。

ここにおいて参考論文とはレフェリー付きジャーナルに掲載（あるいは掲載決定）された，学生本人が中心になってまとめた筆頭論文を指す。研究業績の一部は大学院在学中に行われたものでなければならず，参考論文には原則として申請者の所属が本学と明記されていなければならない。

（イ）博士前期課程を優秀な学業成績で終えること。

（提出書類及び提出期限）

３（１）早期修了による学位請求の資格審査を願い出る者は，以下に示す書類を添えて保健学専攻長（提出先：保健学務係）へ提出する。

（ア）早期修了審査願（様式１）

（イ）研究成果要旨（Ａ４版　様式任意）

（ウ）論文目録（様式２）

（エ）参考論文（各３部）

（オ）履歴書（様式３）

（カ）早期修了対象者推薦書（様式４）

（２）資格審査にかかる提出書類の提出期限は，３月修了（在学期間１年）を希望する場合は前年１２月第１週金曜日とする。９月修了（在学期間１年６か月）を希望する場合は６月第４週金曜日とする。

（資格審査方法）

４（１）専攻長は，早期修了による学位請求資格の有無について審査するため，申請者ごとに予備審査委員会を設ける。

（２）予備審査委員会委員は専攻長が指名する学位論文審査員を含む委員長１名，委員１名

以上をもって構成するものとする。 ただし，参考論文の共著者は委員長になれない。

（３）予備審査委員会は，原則として学位請求論文提出期限の１週間前（当日が祝祭日の場合はその翌日以降の平日）までに審査を終了した上で，「早期修了予備審査結果報告書」（様式５）を作成し，専攻長（提出先：保健学務係）に審査結果を報告する。

（４）学位論文提出者の資格は，予備審査委員会の報告をもとに，博士課程委員会が認定する。なお，認定には出席した博士課程委員会構成員の３分の２以上の賛成を要するものとする。

附　則

この申合せは平成２２年６月２日から施行し，平成２２年４月１日から適用する。

金沢大学大学院医薬保健学総合研究科保健学専攻における長期履修に関する申合せ
（平成２８年３月２日医薬保健学総合研究科保健学博士課程委員会承認）

１．趣旨

この申し合せは，金沢大学学則第５８条及び金沢大学大学院学則第２７条の規定に基づく，金沢大学長期履修の取扱いに関する規程に定めるもののほか，金沢大学大学院医薬保健学総合研究科保健学専攻（博士前期・後期課程）における長期履修に関し，必要な事項を定める。

２．対象となる学生

次の各号の一に該当する者で，金沢大学大学院学則第６条に規定する標準修業年限内での修学が困難な事情にある者とする。ただし，在学者にあっては，修了予定年次の者を除く。

（１）入学時及び在学時において社会人有職者で，職務上の事情により，著しく学修時間の制約を受ける者

（２）育児，介護等に従事している者で，その事情により著しく学修時間の制約を受ける者

３．長期履修の申請

長期履修を希望する者は，指導（予定）教員の承認を得て研究科長に提出するものとする。

４．長期履修の許可期間

博士前期課程及び博士後期課程においては，在学年限の範囲内で年又は学期単位で認める期間とする。

５．申請期間

（１）社会人選抜での入学予定者は，入学手続き期間内に長期履修申請書を提出するものとする。

（２）在学生で対象となる者は，２月末日又は８月末日までに長期履修申請書を提出するものとする。

６．証明書類

（１）有職者

所属長が発行する承諾書

ただし，以前に提出済の者は，不要

（２）育児，介護等に従事している者

上記に従事していることの証明書等又は申立書

７．長期履修の短縮手続き

長期履修を許可された者が，在学期間を短縮しようとするときは，指導教員の承認を得て長期履修短縮申請書を研究科長に提出するものとする。

８．長期履修の短縮の申請期間

９月修了希望の場合は前年度の２月末日，３月修了希望の場合は８月末日とする。

９．長期履修の開始日及び短縮の開始日

各学期の始めとする。

10. 長期履修に関することで，上記以外に関わる事項については，教務委員会で審議の上，医薬保健学総合研究科保健学博士課程委員会の議を経て決定するものとする。

附　則

この申し合せは，平成１６年４月１日から施行する。

附　則

この申し合せは，平成２６年８月６日から施行し，平成２６年４月１日から適用する。

附　則

この申し合せは，平成２８年３月２日から施行し，平成２８年４月１日から適用する。

主任指導教員印

授業科目履修計画表

入学年度	平成　３０　年度
医薬保健学総合研究科保健学専攻	博士前期課程
領域名	領域
教育研究分野	分野
学籍番号	
氏名	（一般・１４条適用）

受講時期		時間割番号	授業科目	単位数	担当教員名	備考
平成　　年度	前期・後期・第1Q・第2Q・第3Q・第4Q					
平成　　年度	前期・後期・第1Q・第2Q・第3Q・第4Q					
平成　　年度	前期・後期・第1Q・第2Q・第3Q・第4Q					
平成　　年度	前期・後期・第1Q・第2Q・第3Q・第4Q					
平成　　年度	前期・後期・第1Q・第2Q・第3Q・第4Q					
平成　　年度	前期・後期・第1Q・第2Q・第3Q・第4Q					
平成　　年度	前期・後期・第1Q・第2Q・第3Q・第4Q					
平成　　年度	前期・後期・第1Q・第2Q・第3Q・第4Q					
平成　　年度	前期・後期・第1Q・第2Q・第3Q・第4Q					
平成　　年度	前期・後期・第1Q・第2Q・第3Q・第4Q					
平成　　年度	前期・後期・第1Q・第2Q・第3Q・第4Q					
平成　　年度	前期・後期・第1Q・第2Q・第3Q・第4Q					

※修了するまでに受講を希望する科目をすべて記載すること

※この計画表は指導教員と修了までの履修計画を確認するためのものです。別途アカンサスポータルで必ず履修登録をしてください。

金沢大学大学院医薬保健学総合研究科保健学専攻

院生カルテ(教育・研究指導確認簿): 博士前期課程

半期毎に（各学期末までに）主任指導教員が学務に提出する。

1. 入学時記入欄（注 1）

領域名		入学年月		平成 30 年 4 月
教育研究分野		指導教員	主任指導教員	印
学籍番号			副指導教員	印
学生氏名			副指導教員	印
			研究連携協力教員	印
研究題目				

（注 1）指導教員の確認を得た上で学生が記入する。
副指導教員は 1 名ないし 2 名。

2. 履修状況など（注 2）

確認項目		○記入欄	日付	印（ｻｲﾝ）
授業科目履修計画表を提出しましたか。				
規定に定める 30 単位以上を登録しましたか。				
規定に定める 30 単位以上を修得しましたか。				
看護科学領域（助産学分野） 規定に定める 59 単位以上を登録しましたか。				
看護科学領域（助産学分野） 規定に定める 59 単位以上を修得しましたか。				
長期履修申請者	長期履修期間　（　　年　　か月） 平成　年　月　～平成　年　月			
14 条特例申請者	年　月から適用			
倫理審査が必要な研究の場合	倫理審査申請を提出しましたか。			
	承認されましたか。			

（注 2）学生または主任指導教員が記入する。
該当する項目に○を付け、○を付けた日付を記入し、記入者の印を押す（サインも可）。

3. 研究指導など（注 3）

年 (平成)	学期 (注 4)	在学状況 （注 5）	コメント等 （研究や論文作成の進行状況など）	確認欄		
				学生	教員	領域長
30	前期					
	後期					
31	前期					
	後期					
32	前期					
	後期					
33	前期					
	後期					
34	前期					
	後期					
35	前期					
	後期					

（注 3）学生または主任指導教員が記入し、学生と主任指導教員の両方が押印する（サインも可）。

（注 4）前期は 4 月～9 月、後期は 10 月～3 月。

（注 5）在学の場合は空欄。休学の場合は「休学」と記載。休学の場合は学生の確認印は不要。

学 修 関 係 に つ い て

① 【重要】学務係からの連絡事項について（掲示板）

学務係からの連絡事項は基本的に掲示板を通じて行います。
保健学専攻ではアカンサスポータル（後述）の「お知らせ」に連絡事項を掲示しています。アカンサスポータルは，研究室はもちろん職場・自宅のパソコン，スマートフォンでも確認することができますので，**見落としの無いようにこまめに確認してください。**

保健学類1号館2階の掲示板にも同様のお知らせを掲示しています。
（奨学金等は掲示板に掲示してあります。）

② 【重要】履修登録について

大学院博士前期課程を修了するには，学位論文を執筆することはもちろん，所定の単位を修得しなくてはなりません。そのためには毎学期，指定する期間内にインターネット（アカンサスポータル）を利用して**履修する科目の登録が必要です。** 登録可能期間については別途掲示を必ず確認してください。
登録方法については，**「大学院便覧112頁」**を参照してください。

※ 後期（10月～）（第3クォーター，第4クォーター含む）に開講される科目を前期（4月～）に登録することは出来ますが，その逆は出来ません。登録漏れのないよう注意してください。
※ **各分野の開講する「課題研究」も含め**開講される科目についてはすべて履修登録が必要です。

【重要】履修科目の登録後，単位認定を希望するすべての科目が登録されているか，履修登録状況を確認してください。訂正がある場合は，登録時と同様に期間内にアカンサスポータルから訂正してください。

（参考）平成30年度の履修手続きについて

（申請期間は年度により異なります。必ず毎学期，掲示にて確認してください）

【前　期】（第1クォーター，第2クォーター含む）

- 4 月 9 日（月）7 時～4 月 25 日（水）18 時　授業科目の履修登録期間
- 4 月 27 日（金）～　確定した履修登録状況を確認及び印刷することが出来る期間

【後　期】（第3クォーター，第4クォーター含む）

- 10 月 1 日（月）7 時～10 月 17 日（水）18 時　授業科目の履修登録期間
- 10 月 19 日（金）～　確定した履修登録状況を確認及び印刷することが出来る期間

③ アカンサスポータルについて（重要）

本学ではＩＣＴ教育の効果的な実践・活用をはかるため，ポータルサイト「アカンサスポータル（https://acanthus.cis.kanazawa-u.ac.jp/）」を運用しています。

ポータルサイトには掲示板機能（お知らせ），LMS（学習管理システム），よく使用するサイトのリンク等多彩な機能を有しています。特に掲示板機能の「お知らせ」には**履修や成績に関する事務連絡，修了や学位論文，奨学金，授業料免除申請等に関することなど重要な情報を掲示しますので，こまめに確認するようにしてください**（掲示見落としによる不利益は救済されません）**。**

同サイトへアクセスするためのID（金沢大学 ID）・パスワードはオリエンテーション時に配布します。アカンサスポータルサイトの機能，使用方法等については，**「大学院便覧125頁」**を参照してください。

マニュアルはログイン後に閲覧できます。（ログイン→「ヘルプ」から参照してください。）

④ 学修案内

（1）学年・学期

保健学専攻の1年は4月1日に始まり，翌年の3月31日に終わります。
この期間を2学期に分け前期（4月1日～9月30日），後期（10月1日～3月31日）としています。
（さらに，前期前半を第1クォーター，前期後半を第2クォーター，後期前半を第3クォーター，後期後半を第4クォーターとしています。）
当該学期の講義開始日・行事日程等については年度初めに学年暦を掲示しますので，そちらで確認してください。実際の曜日とは異なる曜日の講義を開講する場合（曜日振替日）がありますので学年暦を参照してください。

（2）授業時限

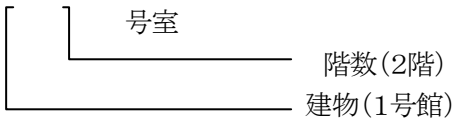
1時限	8:45～10:15	6時限	18:10～19:40 （14 条特例適用者対象）
2時限	10:30～12:00	7時限	19:50～21:20（14 条特例適用者対象）
3時限	13:00～14:30		
4時限	14:45～16:15	※6・7限の講義を受講する場合は，「14条特例適用」	
5時限	16:30～18:00	の申請が必要です。詳細は学務係まで	

（3）保健学専攻校舎について

保健学専攻の校舎は平日の20時～翌朝7時までの間，及び土日・祝日は玄関をロックして部外者の入館を制限しています。
時間外に校舎に入講する場合は，学生証が入館カードキーとなりますので，読み取り機にかざして入構してください。

保健学専攻校舎は1号館～5号館，体育館，福利施設（厚生会館・食堂）からなります。
（巻末のキャンパスマップを参照してください。）
また各講義室・研究室はそれぞれ4ケタの室番号がふられています。

１ ２ ０ １ 講義室（1号館2階の01号室）



⑤ 休学・退学について

休学(1か月以上の修学中止)または退学を希望する学生は，必ず主任指導教員に十分相談の上，所定の期日までに所定の用紙(学務係に備え付け)により願い出てください(病気の事由による場合は医師の診断書を添付してください)。提出期限については別途掲示によりお知らせします。

⑥ 経済支援について

本学の経済支援制度については以下のサイトを参照してください。
・https://www.kanazawa-u.ac.jp/campuslife/economic
『金沢大学 Web サイト』→『学生生活』→『経済支援』

(1)授業料免除について
経済的な理由によって授業料の納入が困難な学生で，かつ学業成績優秀と認められる学生には選考のうえ，授業料の全額又は一部を免除する制度があります。
授業料免除に関する事項はすべて掲示(掲示板，アカンサスポータル「お知らせ」)でお知らせします。申請期間を過ぎたものは受付できませんので，掲示等見落としの無いように注意してください。説明会，申請期間等スケジュールについても上記サイトで確認できます。

(2)奨学金について
日本学生支援機構，都道府県・市町村，民間の育英団体のものなどがあります。
新たに日本学生支援機構奨学金を希望する学生は，毎年 4 月(詳細な日程は掲示でお知らせします)に実施する説明会に出席してください。

(3)金沢大学学生特別支援制度
金沢大学独自の給付型奨学金制度です。

学生生活関係について

① 住所等の変更について

本人や父母等の住所・電話番号に変更があった場合は，すみやかにアカンサスポータルで変更手続きを行ってください。
また姓名に変更があった場合は，所定の手続きが必要になりますので学務係まで申し出てください。
有職者で「大学院設置基準第14条に基づく特例」の適用を受けている学生で，勤務先に変更があった際は学務係まで申し出てください。

② 学内における駐車について

本キャンパスは駐車スペースが狭いため，自動車での通学は原則禁止されています。ただし，やむを得な

い理由により自動車通学を希望する場合は所定の手続き（Webによる申請の後，**必要書類の持参が必要です**）により駐車許可を申請してください。
申請期間等詳細については4月上旬に掲示します。
駐車許可なく駐車した場合は厳重に処罰されます。

③ 学生生活に関する相談について

（1）保健学専攻の学生相談室

保健学専攻では，1号館1階にある「なんでも相談室－いいまっし」で学生生活一般に関する相談を受け付けています。相談員は，保健管理センターのカウンセラー及び保健学専攻の教員が交代で担当します。　（以下，スケジュールは予定です。変更があれば掲示でお知らせします。）

相談日時　　火曜日　12 時 15 分～16 時（保健管理センター　カウンセラー）
予約電話番号：(076)264-5255
E-mail ： hokekan@kenroku.kanazawa-u.ac.jp

なお，保健学専攻の教員に相談することを希望する場合は，直接教員に連絡してください。教員の連絡先等詳細は，『金沢大学（医薬保健学域保健学類）Web サイト』→『在校生の皆さんへ』→『各種資料・手続き（共通）』→『いいまっし（保健学類・なんでも相談室）』で確認してください。

（2）ハラスメントについて

保健学専攻では，複数のハラスメント相談員がいます。被害にあった場合は，学務係の窓口を通じて相談するか，または直接相談員に相談してください。

その他，保健管理センターにも学生相談室があります。詳しくは　『金沢大学 Web サイト』→『在学生』→『学生相談窓口』→『きいつけまっし』→『心と身体の健康管理・悩み事』→『ハラスメント相談窓口』で確認してください。

※『きいつけまっし』の冊子版は入学時にも皆さんに配布しております。

（3）保健管理センター宝町分室及び保健室について

①保健管理センター宝町分室について

宝町・鶴間キャンパスの学生のために，医学類F棟1階（パソコン実習室向い。後掲キャンパスマップ参照）に保健管理センター宝町分室があります。疾病の応急処置や健康相談にも対応します。
（医師は不在の場合もありますので，相談する際は事前に連絡してください。）
なお,学業,人間関係など一人で行き詰ったら，カウンセリングの予約もできますので，気軽に利用してください。
【開室時間】13時～17時　看護師が常駐しています。
【医師の診察・健康相談受付時間】14時～16時30分（火・水・金）
＊ただし，変更になる場合があります。
【場所】医薬保健学域医学類F棟１階（℡076-265-2133）

②保健室について

保健学類１号館１階に保健室があります。簡単な応急処置ができるようになっているので，学務係に連絡の上利用してください。

④ 学生証について

学生証は本学大学院の学生であることを証明する『身分証明書』ですので，大事に取り扱ってください。

また，図書を借りるとき，証明書自動発行機 * を利用する際にも必要ですので常に携帯し，紛失しないでください。紛失・盗難にあった場合は，直ちに学務係まで申し出てください。再発行の場合は手数料 2,100 円が必要です。

その他，学生証には金沢大学生協で利用できる電子マネー機能，夜間・休日に建物に入棟するための入館キーの機能が備え付けられています。

※証明書自動発行機は保健学類 1 号館正面玄関に設置されています。学生証を使用して，JR 学割証，在学証明書等各種証明書を発行することができます。

ネットワーク関係について

① インターネット，電子メールの利用

各自でユーザーID（ネットワーク ID）の登録が必要です。**「ネットワーク ID」**を取得することで，金沢大学の全てのネットワーク関連サービスが受けられます。 例えば，金沢大学キャンパス内でインターネット，無線 LAN を利用する際はネットワーク ID による認証が必要です。またネットワーク ID を取得することによりメールアドレス（XX@stu.kanazawa-u.ac.jp）も付与されます。

ネットワーク ID の登録はアカンサスポータルの「各種設定」内にある「統合アカウント管理システム」から登録してください（アカンサスポータルのログインに金沢大学 ID が必要です）。

詳細は，**「大学院便覧126頁」**又は http://www.imc.kanazawa-u.ac.jp/service/networkid/ を見てください。

② VPN の設定

総合メディア基盤センターの提供する VPN サービスを利用することにより，学外からでも学内と同じ環境 で金沢大学のネットワークが利用できます（前述のネットワーク ID が必要です。）。

VPN サービスを利用することにより，学内限定で公開されているホームページや，**附属図書館の提供する電子ジャーナル，論文検索データベース（一部不可の物もあり）の利用が学外からでも可能になります。**

詳しくは， http://www.imc.kanazawa-u.ac.jp/service/vpn/ を見てください。電子ジャーナル等利用方法については後述の「図書室利用案内」も参照してください。

③ マイクロソフト包括ライセンスについて

本学はマイクロソフト社と包括ライセンス契約を締結しています。これにより本学に在籍するすべての学生はマイクロソフト社の Windows と Office のライセンス料が無料（メディア代は別途要）となります。

制度の詳細や利用方法については http://www.imc.kanazawa-u.ac.jp/service/Mslicense/ を参照してください。

【保健学類図書室(保健学類3号館1階)　利用案内】

（１）　開室時間

曜　日	講義期間中	休業期間中
月～金	8：45 ～ 22：00	＊8：45 ～ 17：00
土	※10：00 ～ 17：00	―

※制限付き開室。**（要学生証）**

＊8月の月～金　8:45～22：00

（２）　休室日

① 日曜日，国民の祝日（休業期間中は土曜日も休室）
② 12月28日～翌年1月3日
③ 夏季一斉休業日
臨時休室日は，その都度ご案内します。

（３）　図書室利用心得

① 室内では静粛にし，私語は慎んで下さい。
② 図書室内ではフタの閉まる容器に入った飲み物を除いて，飲食を禁止しています。
③ 図書・雑誌等の図書資料は自由に閲覧できる開架方式です。閲覧後の資料は必ず元の位置に戻して下さい。

（４）　蔵書冊数および雑誌種類数

（平成29年3月末現在）

区　　分	図　　書	雑　　誌
和	34,879冊	675種
洋	9,132冊	241種
計	44,011冊	916種

＊消耗品図書は上記表に含まれていません。

（５）　貸出と返却

① 学生証が「図書館利用券」となりますので，必ず持参して下さい。
② 図書，製本雑誌（バーコード貼付）の貸出は，学生証を使って自動貸出返却機で手続きして下さい。返却もできます。（返却には，学生証はいりません。）
③ 未製本雑誌，バーコードのない図書，視聴覚資料の貸出は，係員がいたします。貸出には学生証の提示が必要ですが，返却はカウンターに図書等をご持参ください。
④ 更新（貸出期間の延長）は，図書についてのみできます。自動貸出返却機で更新できない場合は係員がいたします。
⑤ 返却期限を過ぎても図書を返却されない場合，遅れた日数分（最長１ヶ月）貸出停止期間となります。
⑥ 閉室時の返却は，ブックポストをご利用ください。
⑦ 借用資料（図書・未製本雑誌・製本雑誌等）の破損・汚損・紛失は，弁償の対象になりますので丁寧にご利用ください。
⑧ 視聴覚資料については，室内でも視聴することができます。係員に尋ねてください。

（６）　貸出冊数と貸出期間

区　　分	一般図書	製本雑誌	参考図書	未製本雑誌	視聴覚資料
冊　　数	６　冊	３　冊	―	３　冊	３　点
期　　間	14　日※	７　日	室内のみ	翌日返却	７　日

※更新（延長）は１回まで

（７）　図書室内での複写機の利用について

図書・雑誌の記事については，著作権の遵守が求められていますので，「文献複写申込書」に複写される図書の書名及び雑誌名等を記入してから複写して下さい。複写機の利用には，生協販売のコピーカードが必要です。

（８）　他大学の図書館利用について

紹介状や事前の照会が必要な場合があります。カウンターまでお問い合わせ下さい。

（９）　ＡＶコーナーについて

図書室備付の視聴覚資料を AV コーナーで視聴することができます。利用する際はカウンターで手続きをして下さい。

（１０）グループ学習室について

図書室資料を使った小グループの研究・学習のための部屋です。利用する際はカウンターで予約手続きをして下さい。

（１１）ＷＥＢサイト

WEB サイトから，学習・研究に必要な電子ジャーナルやデータベースを利用できます。
http://library.kanazawa-u.ac.jp/mhslib/

① OPAC+検索（金沢大学の蔵書，電子ジャーナル，電子ブックを検索）

タイトル，ISBN 等から金沢大学で所蔵している図書，雑誌，視聴覚資料等を検索できます。
検索結果画面で，所在および請求記号を確認してください。図書室資料の場合，所在表示は「保健図書室」または「保健図雑誌」となっています。保健看護，保健放射などは研究室を表します。
検索の結果，図書室の図書が貸出中のときは，返却後に優先的に借用できるように，予約することができます。
電子ジャーナル，電子ブックは検索結果からサイトへリンクされます。

② 電子ジャーナルリスト検索

金沢大学では，多くの電子ジャーナルを契約しており，学内ネットワークに接続された PC から利用できます。検索結果から電子ジャーナルのサイトへリンクされますので，巻号等で目的の論文を絞り込んでください。

③ データベース検索（学術雑誌に掲載された論文の検索）

学内ネットワークに接続された PC から，文献検索データベース「医中誌 WEB」「PubMed」「CINAHL」「SCOPUS」等を使って，学術論文を検索できます。

④ オンラインサービス（学外からも利用できます）

図書館 WEB サイトの「オンラインサービス」からログインすると，以下のサービスが利用できます。（金沢大学ＩＤ（アカンサスポータルのＩＤ）が必要です）

1)**「ＩＬＬ文献複写・図書貸借申込」**

学外(他大学など)および角間地区にある雑誌等の複写物の取寄せや，図書の現物借用の申込ができます。

複写取寄せでは，複写料（学内の場合20円/枚（モノクロ），学外の場合およそ35～50円/枚（モノクロ））と送料を負担いただきます。

図書の現物借用は，学内の場合は無料ですが，学外の場合は往復の送料を負担いただきます。

2)**「貸出予約状況確認」**

借りている資料の返却期限日を確認できます。図書の貸出更新（延長）手続もここからできます。

3)**「希望図書購入」**

図書室に置いてほしい本のリクエストができます。学習・研究支援のために購入しますが，既に学内の図書室以外の場所にある場合は，1)の**「ＩＬＬ文献複写・図書貸借申込」から**借用申込をしてください。

（１２）その他

① 学術論文の入手まで

論文の収録誌が不明な場合は，データベースを使って，収録雑誌名，巻号(Vol. No.)，ページを調べます。保健学分野では，国内雑誌の論文なら医中誌 Web や CiNii，海外雑誌の論文なら PubMed や CINAHL（看護学分野）がよく使われます。

収録誌が分かったら OPAC+検索で電子ジャーナルか，雑誌の所蔵を探します。雑誌(冊子)の場合は目的の巻号の有無と所在場所を確認してください。

目的の雑誌が角間地区などの直接利用できない場所にあったり，金沢大学に所蔵されていない場合は，文献複写申込をして論文のコピーを取寄せることができます。（１１）④のオンラインサービスを参照ください。

② 電子ジャーナル，データベースの学外（自宅など）からの利用について

金沢大学が契約している電子ジャーナル，データベースは，通常，学内のネットワークに接続された PC からのみ利用できるようになっています。社会人院生の方など，学外からの利用を希望される場合は，以下のサイトで紹介している方法をお試しください。

http://library.kanazawa-u.ac.jp/index.php?page_id=24#_30

③ 無償公開されてる論文について

近年，インターネット上に無償で公開される論文が多くなってきています。国内の場合，多くは大学の発行する紀要（誌名に大学名を含むことが多いです）とよばれる雑誌の論文です。

以下のサイトではそれらの中から論文をまとめて検索することができます。本学の電子ジャーナルリストに含まれていない雑誌の論文が入手できることがあります。

学術機関リポジトリポータル JAIRO　http://ju.nii.ac.jp/

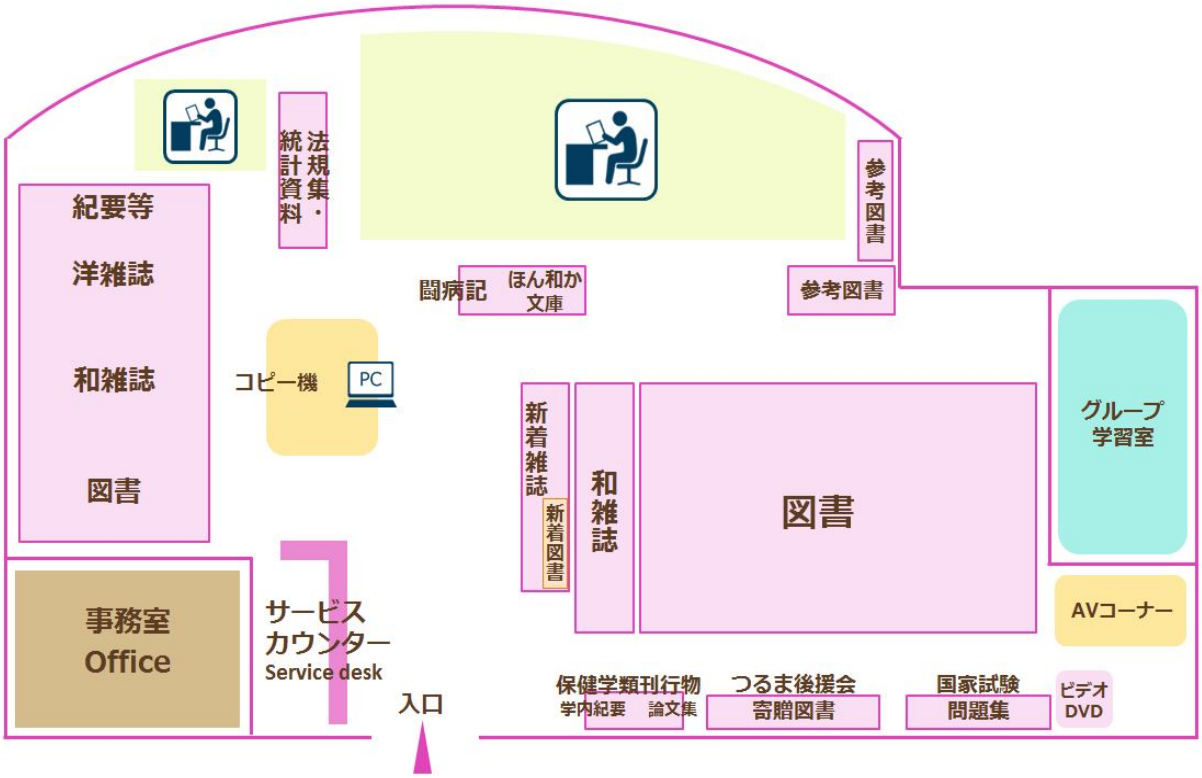
④　データベース検索からの電子ジャーナル利用について

データベースで論文を検索すると，下図のようなバナーが表示されることがあります。これらをクリックすると，電子ジャーナルリスト検索や OPAC 検索をすることなく，簡単に PDF で論文を読めることが多く便利です。(金沢大学で契約している電子ジャーナルの論文や無償公開されている論文の場合)

医中誌 WEB では

PubMed では

保健学類図書室　フロアマップ



保健学類図書室は３号館１階にあります。

保健学類図書室　電話番号：０７６－２６５－２５１８
E-mail：　htosho@adm.kanazawa-u.ac.jp

【医学図書館　利用案内 】

（１）　開館時間

平　日（月～金曜）	8：30 ～ 22：00
土　曜	10：00 ～ 16：00(17:00)※

※閉館時間は月によって異なります。
医学図書館 Web サイトにある開館スケジュールで確認してください。
医学図書館 Web サイト　http://library.kanazawa-u.ac.jp/mlib/

（２）　休 館 日

① 日曜日，国民の祝日
② 12月28日～１月3日
③ 夏季一斉休業日
その他必要のある場合は，臨時に開館・閉館することがあります。

（３）　利用できる資料

主に医学系図書，参考図書（辞典など），視聴覚資料，雑誌が配架されています。図書は，請求記号順，雑誌は，ABC 順に配架されています。
・配架場所は次のとおりです。

１階（閲覧エリア）	医学系図書，参考図書（辞典など），視聴覚資料(DVD)
２階（オープンスタジオ）	新着の購読雑誌
３階（書庫）	利用頻度の低い図書（OPAC plus では別置４），古い和雑誌 ※一部未整備のため，立ち入りできない箇所あり。
４階（書庫）	雑誌（製本雑誌含む）

（４）　貸出冊数と貸出期間

区　　分	一般図書	製本雑誌	未製本雑誌	基本書･参考図書	視聴覚資料
冊　　数	５　冊	６　冊	３　冊	－	２　点
期　　間	14日※	７　日	翌日返却	館内のみ	７　日※

※更新（延長）は１回まで

貸出返却の手続きは，保健学類図書室と同様です。
閉館時返却用のブックポストは入口付近に設置してあります。

（５）　視聴覚ブース（1階）

図書館備付の視聴覚資料を視聴することができます。

（６）　複写機の利用について

１階サービスカウンター前にコピー機が2台置いてあります（モノクロ専用でコイン式とカード式、各1台）。2階十全記念スタジオにカラー対応コピー機（カード式）が1台あります。
保健学類図書室と同様に「文献複写申込書」を記入してから複写してください。

（７）閲覧エリア（１階）

閲覧席 24 席とカウンター席 18 席があります。無線 LAN も利用できます。
車椅子用のテーブルもあります。

（８）ラーニング・コモンズ（1階，2階）

１階にはブックラウンジがあり，事前に予約すれば，イベントにも使用できます。

また，ここには，新聞，テレビ，自販機が置いてあります。
２階には，次のオープンスタジオ，グループスタジオ，十全記念スタジオがあります。
【オープンスタジオ】
以下の設備があり，無線 LAN も利用できます。
・パソコン（シンクライアント）24 台
・自由に組み合わせ可能なテーブルと椅子（36 席），ホワイトボード
また，奥には，新着雑誌コーナー（閲覧席 6 席）があります。
【グループスタジオ】※要予約（(9) 施設のネット予約参照）
・4 部屋とも 8 席用で，自由に組み合わせができるテーブルがあります。
【十全記念スタジオ】
・2 人用テーブルと椅子（56 席）があります。
・講習会，講演会などのイベントで使用したいときは，事前に申し込む必要がありま
す。詳細は医学図書館職員にお問い合わせください。

（９）施設のネット予約

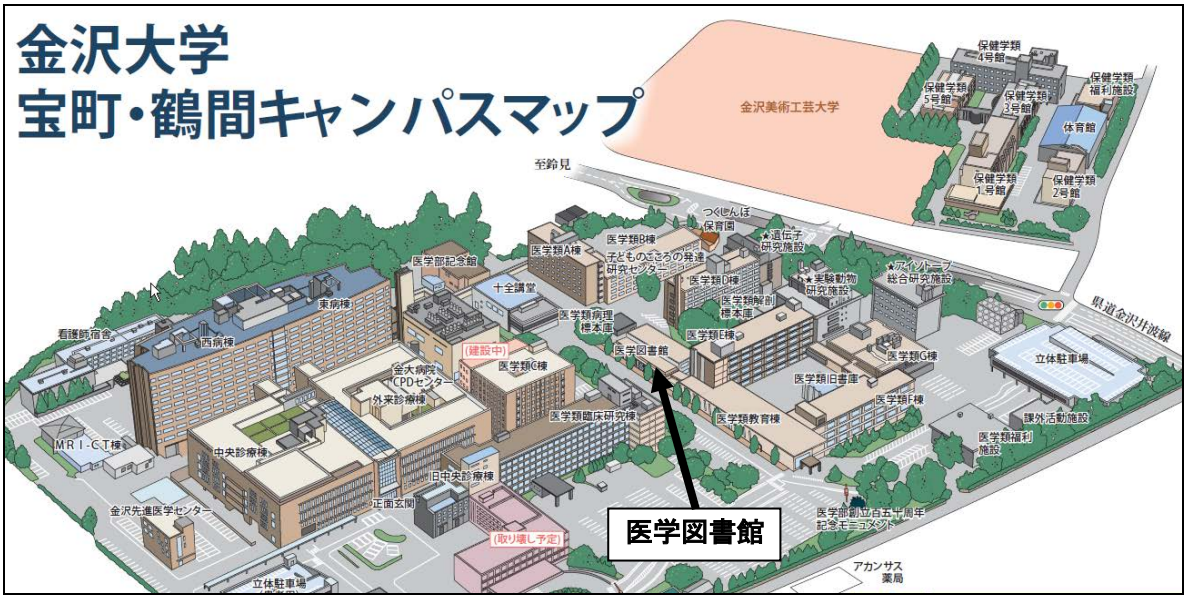
1 階に研究個室が 4 部屋，2 階にグループスタジオが 4 部屋あります。
図書館の Web サイトにある「図書館オンラインサービス」にログインし，「施設の予約」より事前に予約のうえご利用ください（要金大 ID)。

（１０）自習室（2階）

E 棟 2 階の連絡通路（またはE 棟側 1 階入口から入ってすぐの階段を上る）から入ると個人用のキャレルが 48 席ある自習室があります。
※オープンスタジオのある 2 階からは，自習室に行くことはできません。

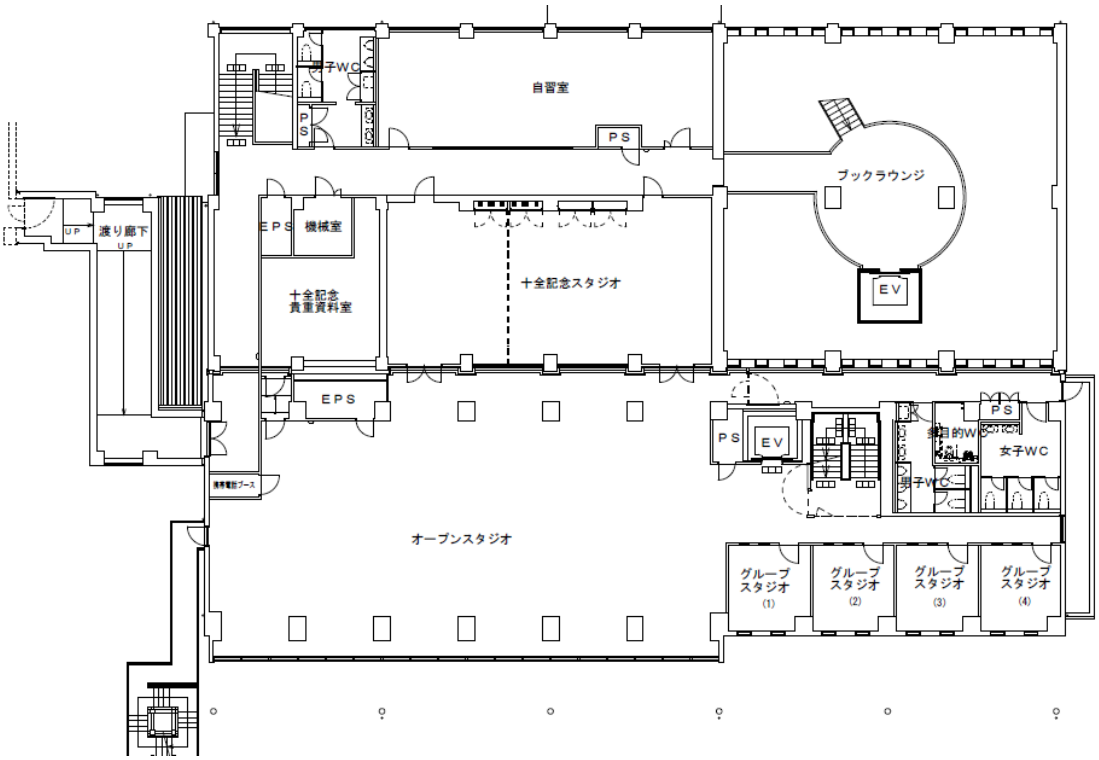
（１１）利用上の注意

①館内では喫煙，携帯電話での通話は禁止です。
※2 階オープンスタジオ奥に携帯電話専用ブースがありますので，ご利用ください。
②館内では食事はできません。
ペットボトルなどフタの閉まる容器の飲み物のみ持ち込みができます。
※ただし 1 階ブックラウンジのみ飲食可能です。
③貴重品などは，常に身につけておくようにしてください。

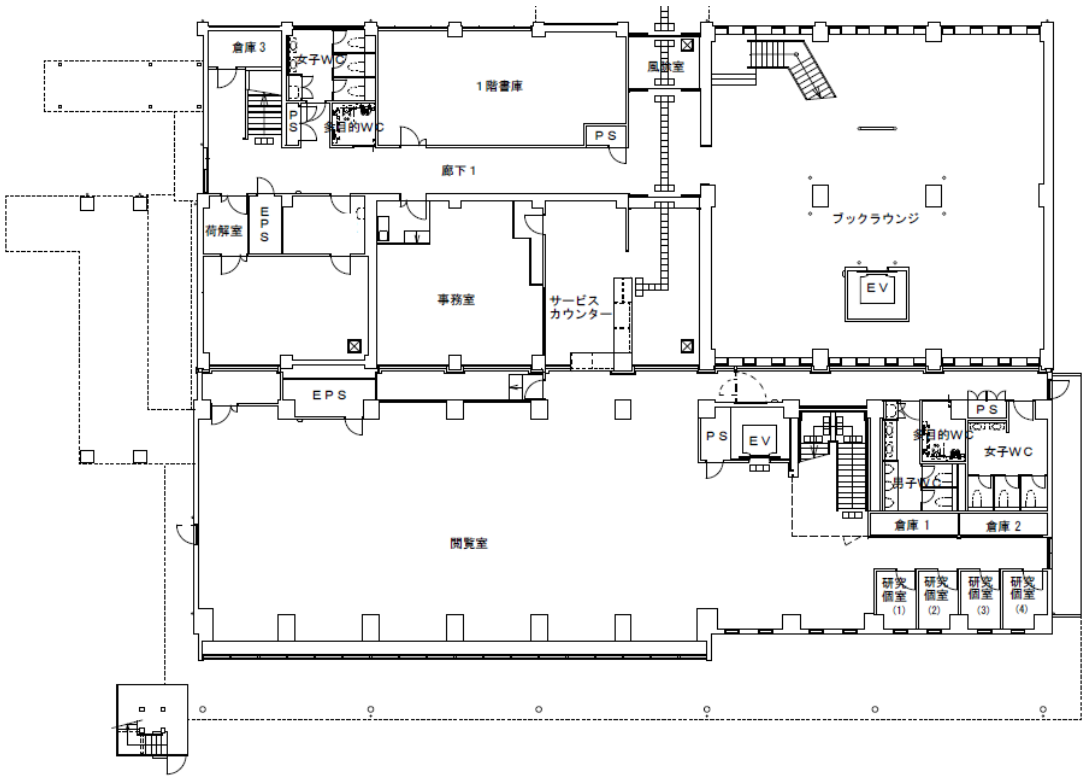


医学図書館　電話番号：０７６－２６５－２１４１

平面図【2 階】


男子WC
PS
自習室
PS
ブックラウンジ
UP
渡り廊下
UP
EPS
機械室
十全記念
貴重資料室
十全記念スタジオ
EV
EPS
PS
EV
PS
多目的WC
女子WC
男子WC
オープンスタジオ
グループ
スタジオ
(1)
グループ
スタジオ
(2)
グループ
スタジオ
(3)
グループ
スタジオ
(4)

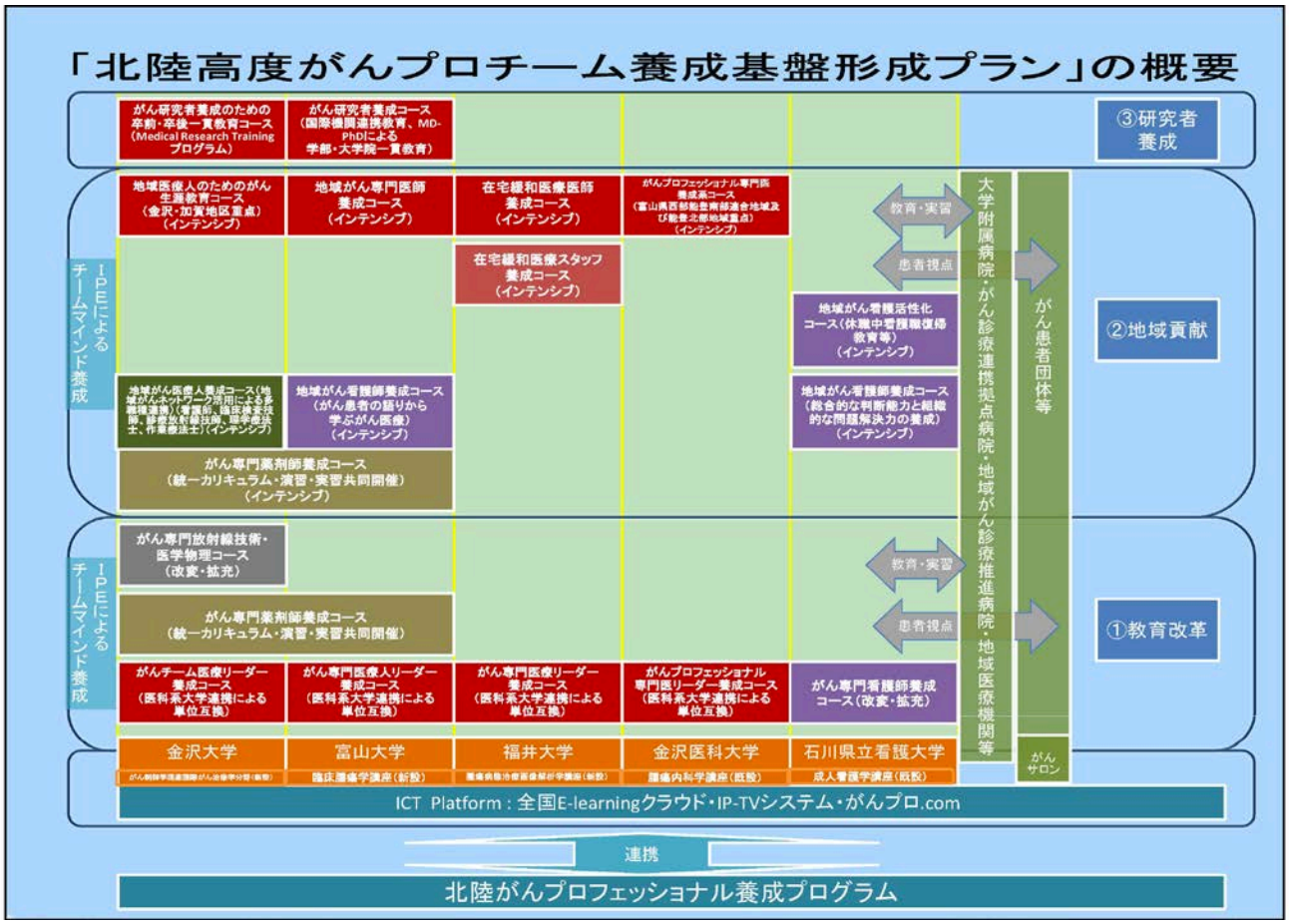
平面図【1 階】


倉庫 3
女子WC
PS
多目的WC
1 階書庫
PS
風除室
廊下 1
ブックラウンジ
荷解室
EPS
事務室
サービス
カウンター
EV
EPS
PS
EV
PS
多目的WC
女子WC
男子WC
倉庫 1
倉庫 2
閲覧室
研究
個室
(1)
研究
個室
(2)
研究
個室
(3)
研究
個室
(4)

北陸高度がんプロチームがん専門スタッフ養成系について

1．北陸がんプロの概要

平成19年4月から施行された「がん対策基本法」の第14条には“国及び地方公共団体は、手術・放射線療法・化学療法その他のがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師その他の医療従事者の養成を図るために必要な施策を講ずるものとする”と記載されている。この趣旨に基づき、文部科学省が“がん医療の担い手となる高度な知識・技術を持つがん専門医師及びがんの診療に携わるスタッフ等、がんに特化した医療人の養成を行うための大学（大学病院、大学院）の優れた取り組みを支援する”目的で平成19年度から創設した計画が「がんプロフェッショナル養成プラン」です。



全国の大学から応募があった中から、北陸地区の課題も含む18課題が採択されました。北陸地区は4医科系大学（金沢大学、富山大学、金沢医科大学、福井大学）と石川県立看護大学の5大学が共同申請し、北陸3県のすべてのがん診療連携拠点病院に協力施設として加わっていただきました。採択課題名は「北陸がんプロフェッショナル養成プログラム -ICT による融合型教育システム及び“がんプロネット”の構築-」で、プログラム全体のコンセプトは、①共通カリキュラムによる融合型教育の相互補完、②テレビカンファレンスによる双方向授業、③キャンサーボードによる集学的管理、④標準的治療の実施とアウトカムの検証、⑤臨床共同研究の推進と先進医療の開発、⑥一般住民及び医療従事者向けの様々ながん情報の発信です。

本プログラムには3つのコースが設定されています。①つ目は「北陸がんプロフェッショナル専門医養成コース」であり、高い臨床能力と研究能力を併せ持った臨床医を養成するために、大学院博士課程4年間の間に、がん臨床とがん研究との教育指導の両者をバランスよく按分することによって、効率的な環境下（充実した教育指導と高度な機器）で学位の取得とともに各科専門医資格、腫瘍専門医認定が得られることを目指す一石三鳥のプログラムです。②つ目はがん専門医療スタッフの養成を目的とした「北陸がんプロフェッショナルがん専門

薬剤師養成コース」、「北陸がんプロフェッショナルがん専門看護師養成コース」、「北陸がんプロフェッショナルがん専門診療放射線技師養成コース」で、がん医療に特化した実践的教育を、医師も含め職種を越えて高度な融合型教育を行い、学位の取得とともに、がんチーム医療に積極的に貢献できる職業人の養成を目指すプログラムです。③つ目は「北陸がんプロフェッショナル　インテンシブ医師コース」、「北陸がんプロフェッショナル　インテンシブコメディカルコース」です。対象は、すでに学位や学会の専門医、認定医を取得した医師や一定の実務経験を有する医療スタッフで、科目等履修生等により一定期間の講義や臨床実習を受けることにより、がんの診断・治療・研究に必要な高度な知識・技術の修得を目指すコースです。これらに加え，平成 21 年度から「北陸がん専門臨床検査技師コース」も設置されました。

これらのコースは新たに**「北陸高度がんプロチーム養成基盤形成プラン」**として継続・拡充されます。

2. 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科規程（抄）

第11条　保健学専攻（博士前期課程）に北陸高度がんプロチームがん専門スタッフ養成系（以下「がん専門スタッフ養成系」という。）を置く。

がん専門スタッフ養成系に関する授業科目及び単位数は別表８のとおりとする。

別表８　北陸高度がんプロチームがん専門スタッフ養成系における授業科目及び単位数

がん専門スタッフ養成系		授業科目及び単位数	
がんプロ共通科目		腫瘍薬物学特論＊	1
		腫瘍放射線医学特論＊	1
		がん緩和医療学特論＊	1
		コンサルテーション論	2
		分子生物学入門	1
		医療統計学特論	2
		放射線治療物理臨床技術学特講＊	2
放射	演習科目	放射線治療安全技術学演習	4
		臨地マネージメント演習	4
	専門科目	医学物理学特論	2
		放射線治療安全技術学特論	2
検査	演習科目	臨地マネージメント病理演習	4
		腫瘍分子生物学演習	4
		細胞診断学演習	4
	専門科目	腫瘍分子生物学特論	2

注１：＊印科目は博士後期課程開講科目であるが，がん専門スタッフ養成系では博士前期課程開講科目として充当する。ただし，博士前期課程の修了に必要な単位数には算入しない。

注２：**「がん専門診療放射線技師」**認定には，上記開講科目（検査開講科目を除く）から 6 科目 14 単位以上が必要。

注３：**「がん専門臨床検査技師」**認定には，上記開講科目（放射開講科目を除く）から，「腫瘍分子生物学特論」，「臨地マネージメント病理演習」及び「細胞診断学演習」の3科目10単位を必修とし，選択科目として上記開講科目（「放射線治療物理臨

床技術学特講」を除く）から3科目5単位以上の修得が必要。

【参考 北陸がんプロフェッショナル養成プログラムで受講可能なその他の授業科目、単位数および講義形態】

授業科目の名称	単位数	講義形態
腫瘍病理学特論	1	e-learning ＋ スクーリング
臨床腫瘍学特論	1	e-learning ＋ スクーリング
がん外科学特論	1	e-learning ＋ スクーリング
腫瘍薬物学演習	1	スクーリングまたは臓器別 CB カンファレンス
腫瘍放射線医学演習	1	スクーリングまたは臓器別 CB カンファレンス
がん緩和医療学演習	1	スクーリングまたは臓器別 CB カンファレンス
腫瘍病理学演習	1	e-learning ＋ スクーリング
臨床腫瘍学演習	1	スクーリングまたは臓器別 CB カンファレンス
がん外科学演習	1	スクーリングまたは臓器別 CB カンファレンス
分子腫瘍学特論	1	e-learning ＋ スクーリング
臨床統計学特論	1	e-learning ＋ スクーリング
臨床栄養学特論	1	e-learning ＋ スクーリング
臨床統計学演習	1	e-learning ＋ スクーリング

授業内容については次を参照すること： http://gan-pro.net/member/info/syllabus/

【受講方法】

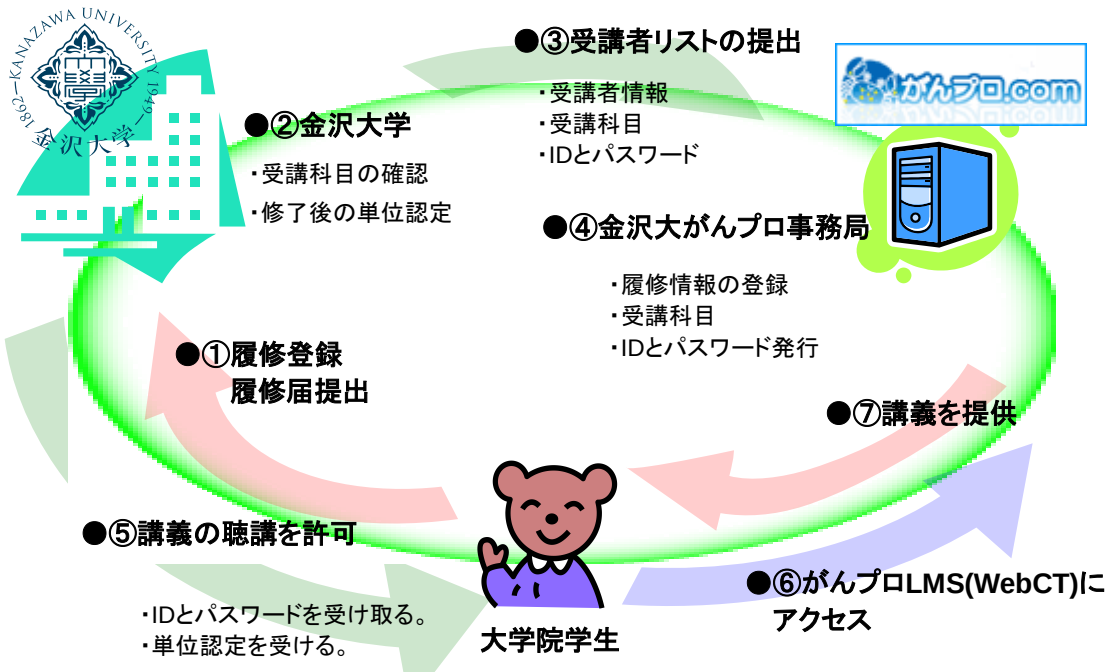


図2：本科生(大学院学生)の受講方法

① 受講科目を選択し，決められた期間に履修登録手続き（がんプロ履修届の提出）を行ってください。履修登録期間は各学期開始時に掲示等でお知らせします。

② その後，学務係から ID とパスワードがメールにて送られてきます。これらは E-learning の受講に必要です。対面授業の場合は，担当教員の指示に従ってください。

③ **E-learning 科目であっても指定された期日のスクーリングに参加しないと単位が認定されない場合がある**ので，注意してください。講義及びスクーリング受講方法，単位認定方法等，詳しくはがんプロホームページを参照してください。

〇がんプロホームページ　http://gan-pro.net/member/

【資格認定方法】

① 各コースにおいて別途定められている認定要件を充足した場合，資格認定申請料（1,000 円）を「ＮＰＯ法人がんプロフェッショナル認定機構」の指定する銀行口座に振り込んだ上で，振込領収書の写し及び「ＮＰＯ法人がんプロフェッショナル認定機構資格認定申請書」を保健学務係まで提出してください。

② 申請にあたり添付が必要な「がんプロ科目修了証書」は学務係が認定機構へ代理申請します。

【インテンシブコースの案内】

上記の本科生コース以外に，チーム医療の養成を目的とした研修コース（インテンシブコース）が開講されています。詳細はがんプロ事務局で案内されています。

〇がんプロ事務局　℡：(076) 234-4205　URL：http://gan-pro.net/

※インテンシブコースにおける E-learning 受講の際に必要となる ID/パスワードは，上述の本科生コースで使用する ID/パスワードとは異なりますのでご注意ください。

平成　　年　　月　　日提出

北陸高度がんプロチームがん専門スタッフ養成系

履　　修　　届

コ　ー　ス　名: がん専門診療放射線技師認定 ・ がん専門臨床検査技師認定

（該当のコース名に〇）

領　　域　　名: _____

教育研究分野名: _____

氏　　名: _____

学　籍　番　号: _____

E-mail（PC のもの）: _____

がん専門スタッフ養成系		授業科目及び単位数		時間割番号	履修科目に✓
がんプロ共通科目		腫瘍薬物学特論＊＃	1	16001	
		腫瘍放射線医学特論＊＃	1	16004	
		がん緩和医療学特論＊＃	1	16005	
		コンサルテーション論＃ **注 5**	2	16006	
		分子生物学入門＃	1	16020	
		医療統計学特論	2	03006	
		放射線治療物理臨床技術学特講＊	2	16018	
放射	演習科目	放射線治療安全技術学演習	4	03324	
		臨地マネージメント演習	4	03007	
	専門科目	医学物理学特論＃	2	03303	
		放射線治療安全技術学特論	2	03323	
検査	演習科目	臨地マネージメント病理演習	4	03355	
		腫瘍分子生物学演習	4	03354	
		細胞診断学演習	4	03356	
	専門科目	腫瘍分子生物学特論	2	03353	

注 1 ： ＊印科目は博士後期課程開講科目であるが，がん専門スタッフ養成系では博士前期課程開講科目として充当する。
ただし，博士前期課程の修了に必要な単位数には算入しない。

注 2 ：「がん専門診療放射線技師」認定には，上記開講科目（検査開講科目を除く）から 6 科目 14 単位以上が必要。

注 3 ：「がん専門臨床検査技師」認定には，上記開講科目（放射開講科目を除く）から，「腫瘍分子生物学特論」，「臨地マネージメント病理演習」及び「細胞診断学演習」の3科目10単位を必修とし，選択科目として上記開講科目（「放射線治療物理臨床技術学特講」を除く）から3科目5単位以上の修得が必要。

注 4 ： 各科目の詳細は，Web シラバスを参照してください。（http://gan-pro.net/member/info/syllabus/）

注 5 ： コンサルテーション論の履修に関しては，必ず事前に保健学系　武村哲浩教授に相談してください。

注 6 ： ＃印は e-learning とスクーリングにより単位認定されます。

【北陸がんプロフェッショナル養成プログラムで受講可能なその他の授業科目】

授業科目の名称	単位数	時間割番号	履修科目に✓
腫瘍病理学特論＃	1	16007	
臨床腫瘍学特論＃	1	16008	
がん外科学特論＃	1	16009	
腫瘍薬物学演習	1	16010	
腫瘍放射線医学演習	1	16011	
がん緩和医療学演習	1	16012	
腫瘍病理学演習＃	1	16013	
臨床腫瘍学演習	1	16014	
がん外科学演習	1	16015	
分子腫瘍学特論＃	1	16016	
臨床統計学特論＃	1	16002	
臨床栄養学特論＃	1	16003	
臨床統計学演習＃	1	16017	

注　＃印は e-learning とスクーリングにより単位認定されます

本票は，履修登録期間内に学務係へ提出してください。
受講にあたっては，必ず主任指導教員の了解を得てください。

KANAZAWA UNIVERSITY

金沢大学 宝町・鶴間 キャンパスマップ

KANAZAWA UNIVERSITY TAKARAMACHI·TSURUMA CAMPUS MAP

金沢美術工芸大学
至鈴見
保健学類4号館
保健学類5号館
保健学類3号館
保健学類福利施設
体育館
保健学類2号館
保健学類1号館
つくしんぼ保育園
医学類A棟
医学類B棟
遺伝子研究施設
医学類D棟（全学共用教育研究棟），子どものこころの発達研究センター
実験動物研究施設
アイソトープ総合研究施設
医学部記念館
十全講堂
中央設備室
医学類病理標本庫
医学類解剖標本庫
医学図書館
医学類E棟
医学類G棟
県道金沢井波線
立体駐車場
至笠舞
如来寺前バス停
看護師宿舎
東病棟
西病棟
医学類C棟
金大病院CPDセンター
外来診療棟
医学類旧書庫
医学類教育棟
医学類F棟
課外活動施設
医学類福利施設
MRI-CT棟
中央診療棟
タクシー乗り場
正面玄関
金沢先進医学センター
金沢大学附属病院バス停
一般車乗降所
立体駐車場（患者用）
アネックス棟
先端医療開発センター
アカンサス薬局
石引広見バス停
至小立野
至兼六園

鶴間地区

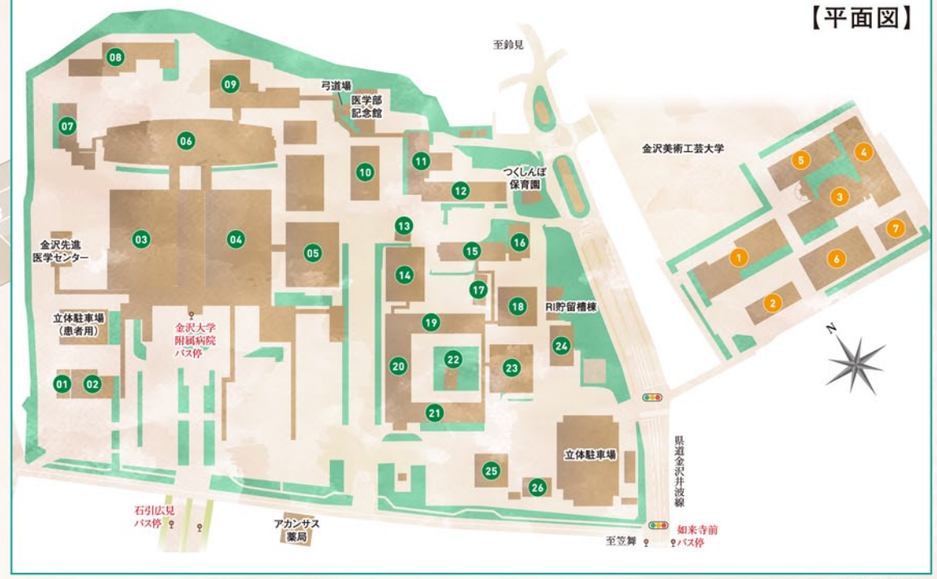
1. 保健学類Ⅰ号館
2. 保健学類２号館
3. 保健学類３号館
4. 保健学類４号館
5. 保健学類５号館
6. 体育館
7. 保健学類福利施設

宝町地区

01. 先端医療開発センター
02. アネックス棟
03. 中央診療棟
04. 外来診療棟，金大病院CPDセンター
05. 医学類C棟
06. 病棟（西病棟／東病棟）
07. MRI-CT棟
08. 看護師宿舎
09. 北病棟
10. 十全講堂
11. 医学類A棟
12. 医学類B棟
13. 医学類病理標本庫
14. 医学図書館
15. 医学類D棟（全学共用教育研究棟），子どものこころの発達研究センター
16. ★遺伝子研究施設
17. 医学類解剖標本庫
18. ★実験動物研究施設
19. 医学類E棟
20. 医学類教育棟
21. 医学類F棟
22. 医学類旧書庫
23. 医学類G棟
24. ★アイソトープ総合研究施設
25. 医学類福利施設
26. 課外活動施設

★学際科学実験センター

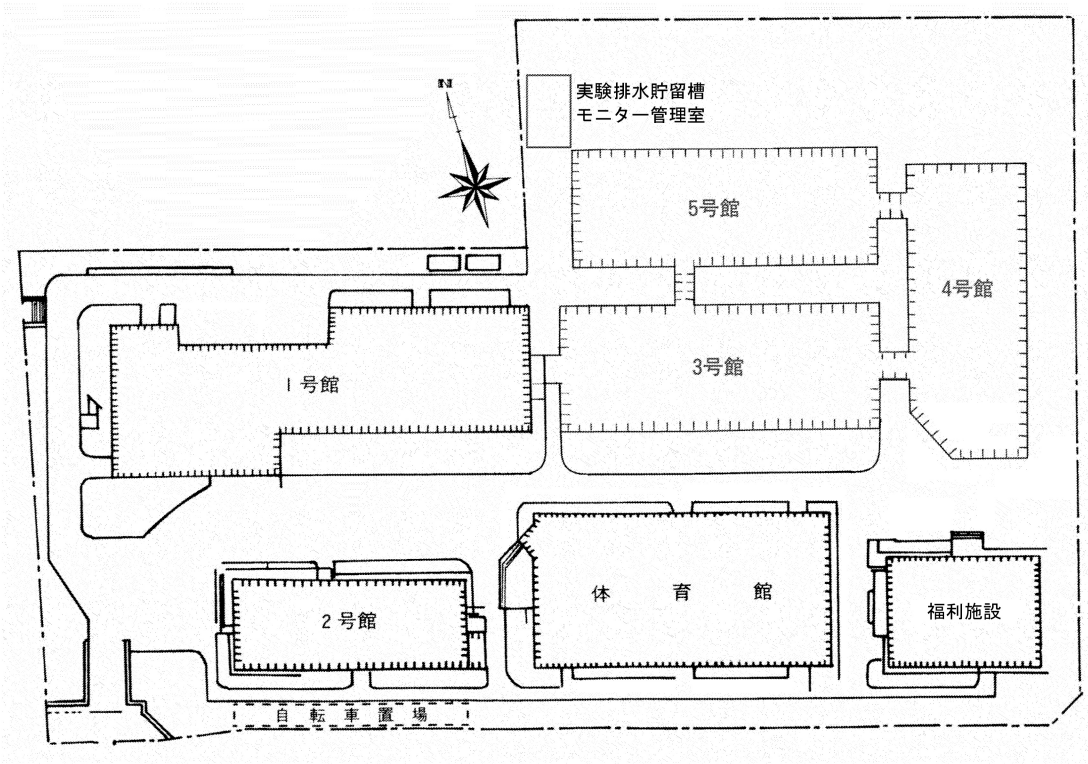
【平面図】



2017.3.5000

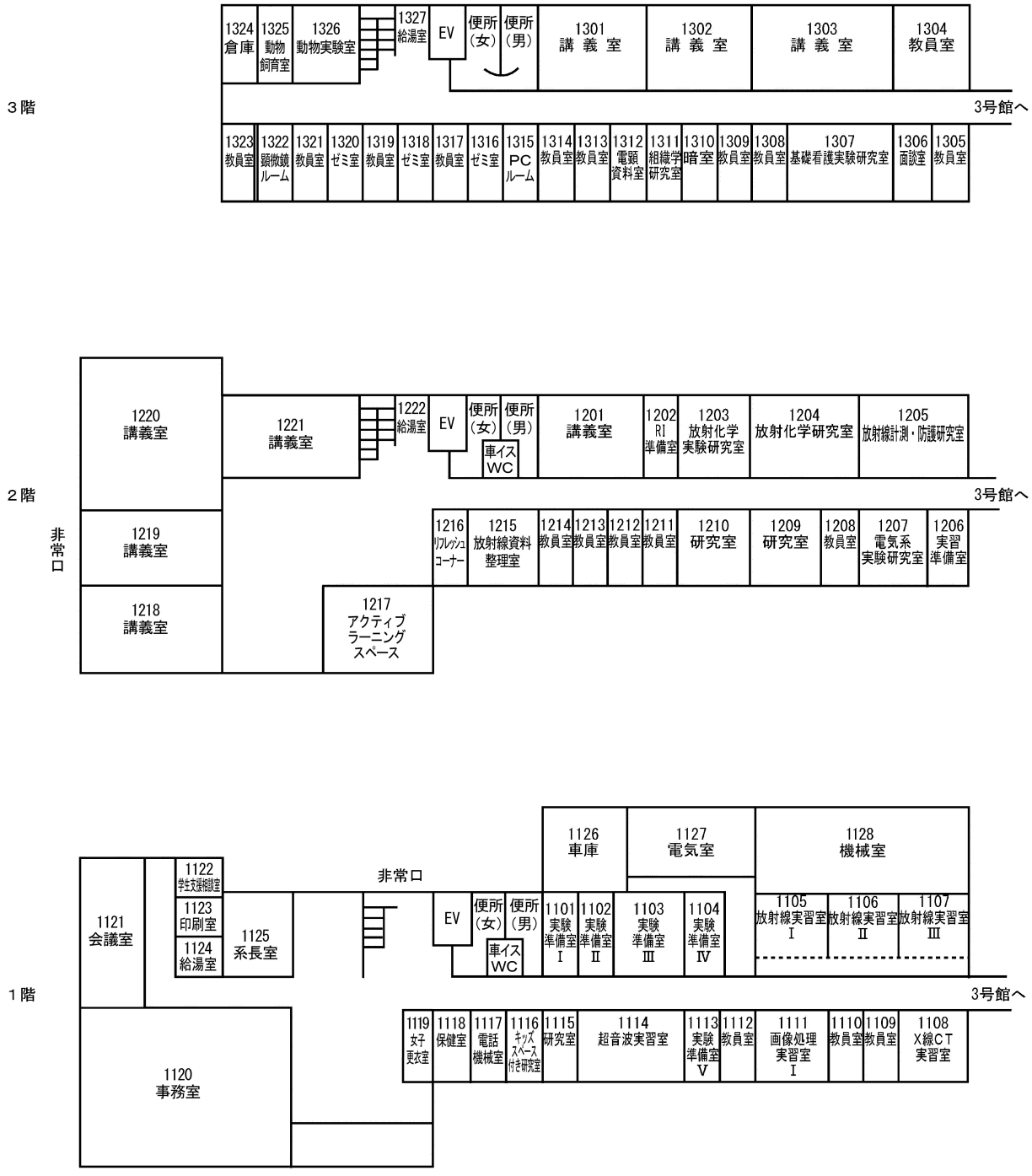
金沢大学医薬保健学域保健学類校舎

（1） 配 置 図

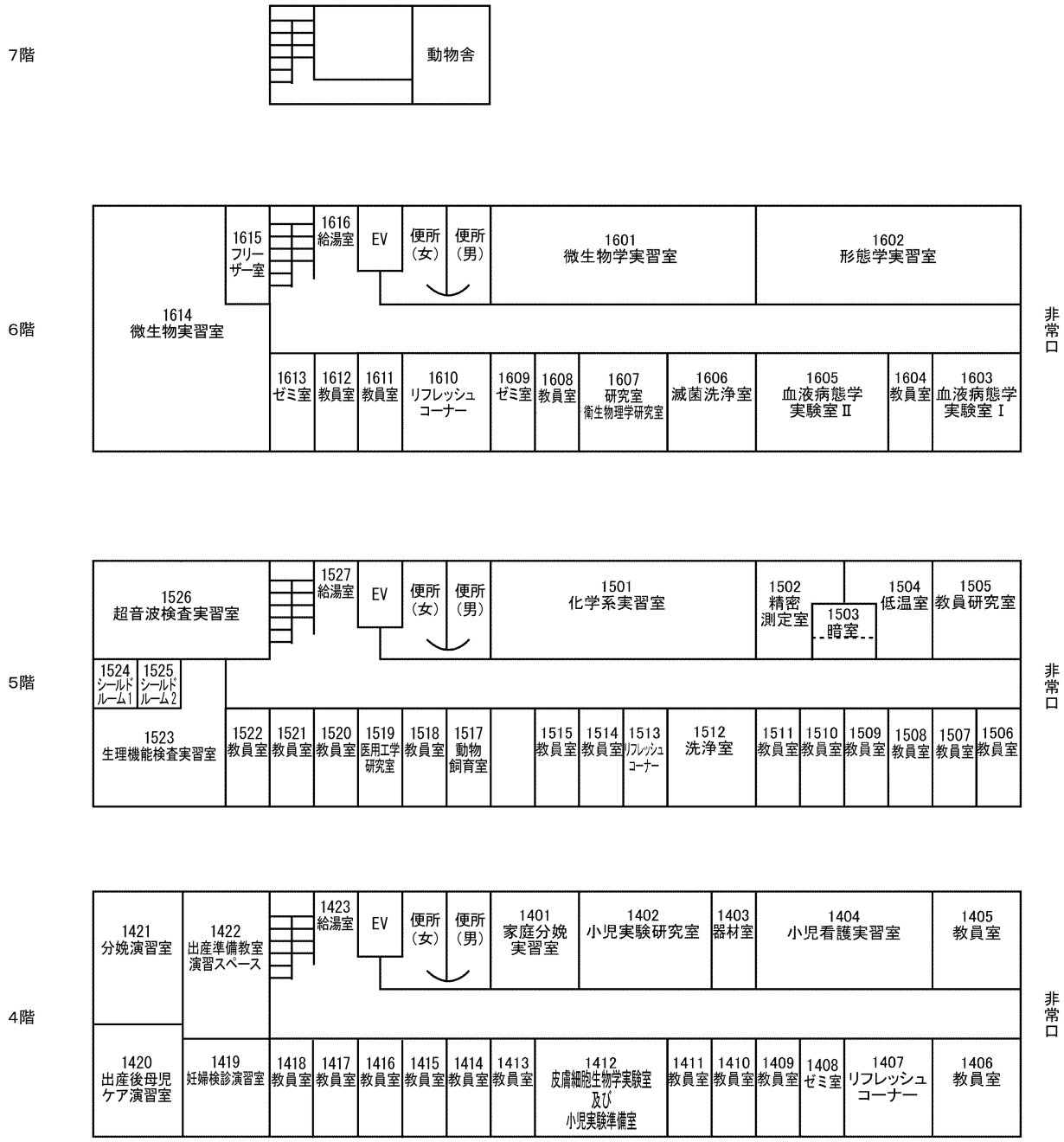


（２）　平　面　図

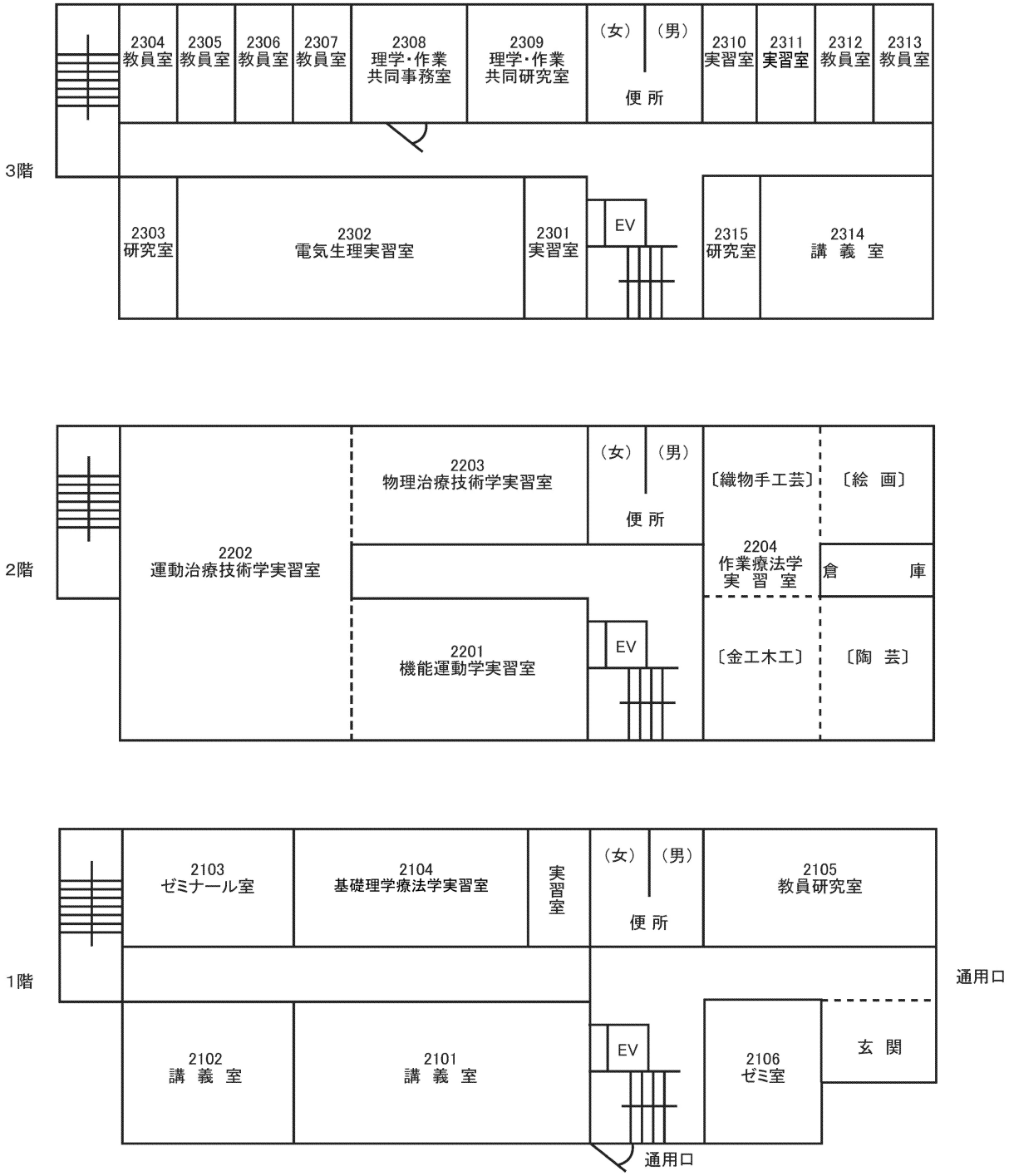
１号館平面図（１～３階）



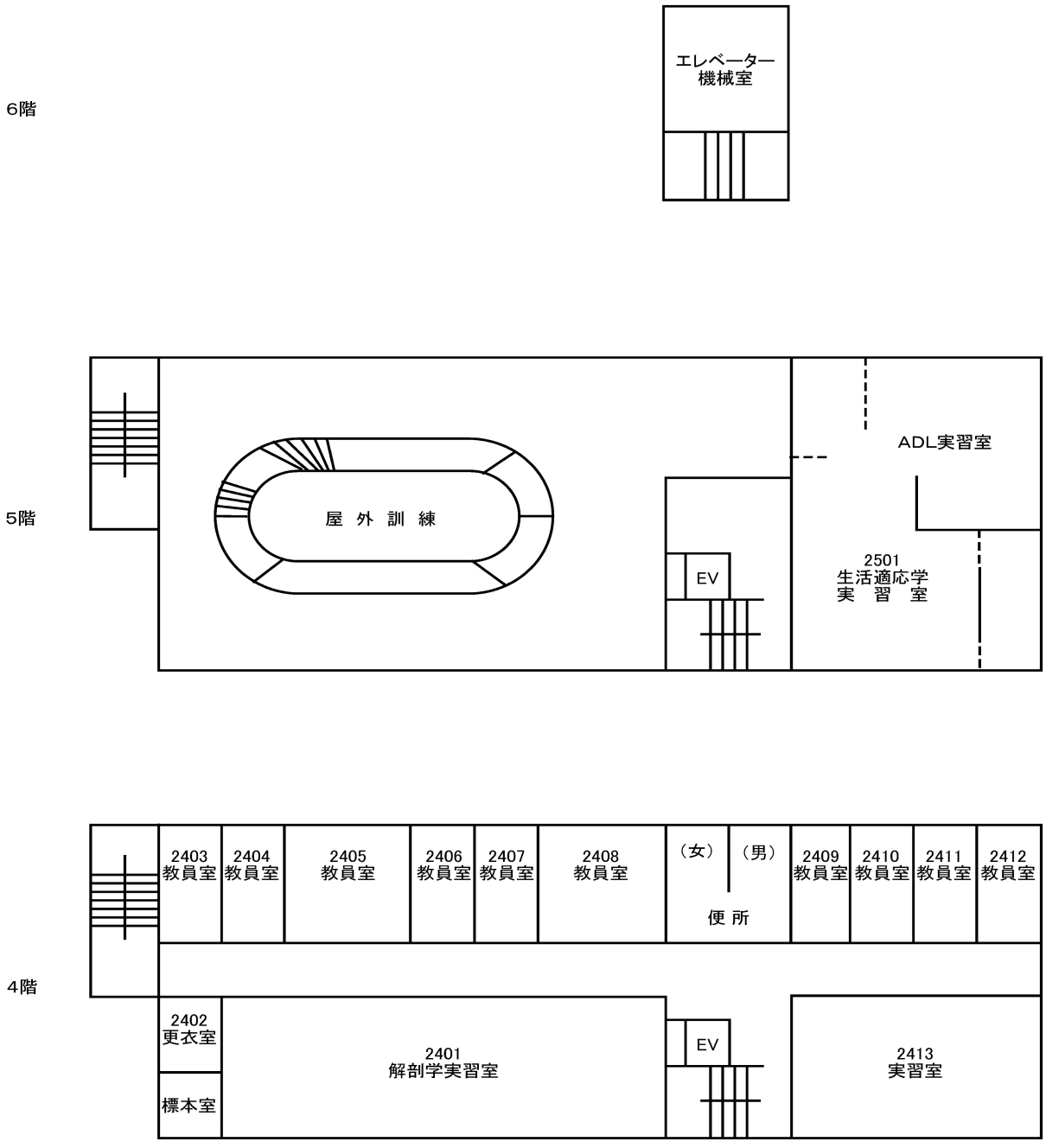
１号館平面図（４～７階）


7階
動物舎
6階
1614
微生物実習室
1615
フリー
ザー室
1616
給湯室
EV
便所
（女）
便所
（男）
1601
微生物学実習室
1602
形態学実習室
非常口
1613
ゼミ室
1612
教員室
1611
教員室
1610
リフレッシュ
コーナー
1609
ゼミ室
1608
教員室
1607
研究室
衛生物理学研究室
1606
滅菌洗浄室
1605
血液病態学
実験室Ⅱ
1604
教員室
1603
血液病態学
実験室Ⅰ
5階
1526
超音波検査実習室
1527
給湯室
EV
便所
（女）
便所
（男）
1501
化学系実習室
1502
精密
測定室
1503
暗室
1504
低温室
1505
教員研究室
1524
シールド
ルーム1
1525
シールド
ルーム2
1523
生理機能検査実習室
1522
教員室
1521
教員室
1520
教員室
1519
医用工学
研究室
1518
教員室
1517
動物
飼育室
1515
教員室
1514
教員室
1513
リフレッシュ
コーナー
1512
洗浄室
1511
教員室
1510
教員室
1509
教員室
1508
教員室
1507
教員室
1506
教員室
非常口
4階
1421
分娩演習室
1422
出産準備教室
演習スペース
1423
給湯室
EV
便所
（女）
便所
（男）
1401
家庭分娩
実習室
1402
小児実験研究室
1403
器材室
1404
小児看護実習室
1405
教員室
1420
出産後母児
ケア演習室
1419
妊婦検診演習室
1418
教員室
1417
教員室
1416
教員室
1415
教員室
1414
教員室
1413
教員室
1412
皮膚細胞生物学実験室
及び
小児実験準備室
1411
教員室
1410
教員室
1409
教員室
1408
ゼミ室
1407
リフレッシュ
コーナー
1406
教員室
非常口

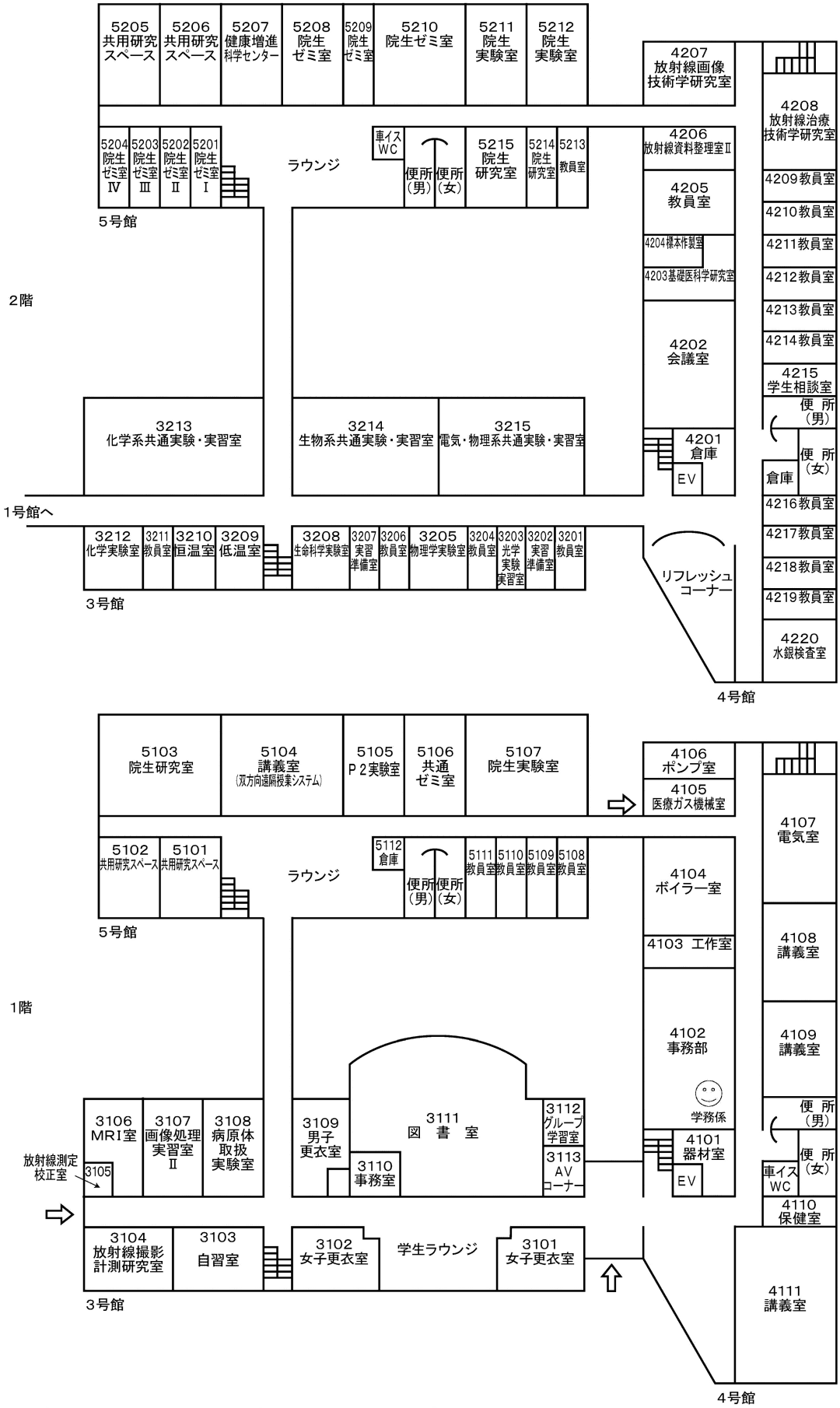
２号館平面図（１～３階）


3階
2304 教員室
2305 教員室
2306 教員室
2307 教員室
2308 理学・作業 共同事務室
2309 理学・作業 共同研究室
（女）
（男）
便 所
2310 実習室
2311 実習室
2312 教員室
2313 教員室
2303 研究室
2302 電気生理実習室
2301 実習室
EV
2315 研究室
2314 講 義 室
2階
2202 運動治療技術学実習室
2203 物理治療技術学実習室
（女）
（男）
便 所
〔織物手工芸〕
〔絵 画〕
2204 作業療法学 実 習 室
倉 庫
2201 機能運動学実習室
EV
〔金工木工〕
〔陶 芸〕
1階
2103 ゼミナール室
2104 基礎理学療法学実習室
実習室
（女）
（男）
便 所
2105 教員研究室
通用口
2102 講 義 室
2101 講 義 室
EV
2106 ゼミ室
玄 関
通用口

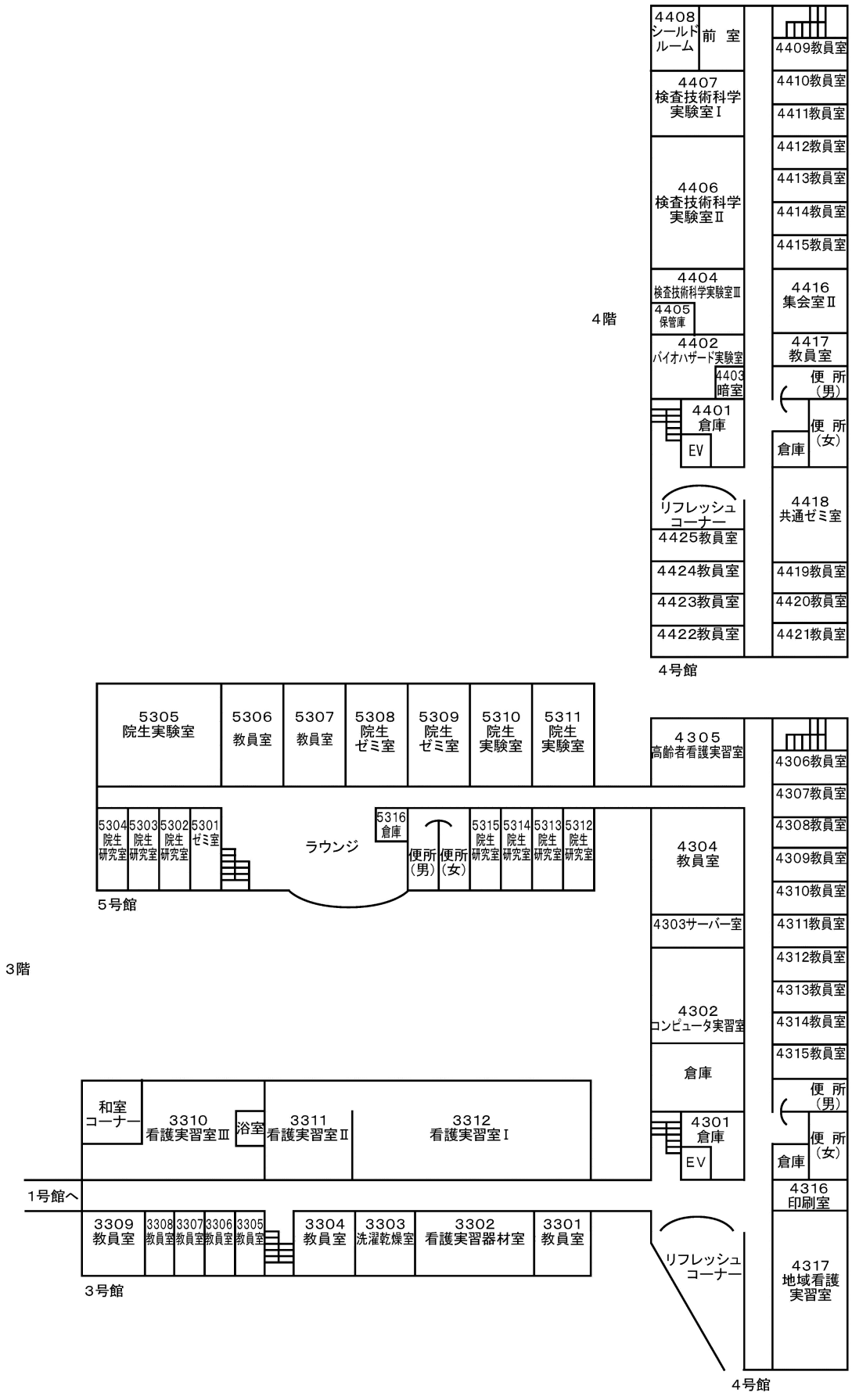
２号館平面図（４～６階）


6階
エレベーター
機械室
5階
屋 外 訓 練
EV
ADL実習室
2501
生活適応学
実 習 室
4階
2403
教員室
2404
教員室
2405
教員室
2406
教員室
2407
教員室
2408
教員室
（女）
（男）
便 所
2409
教員室
2410
教員室
2411
教員室
2412
教員室
2402
更衣室
標本室
2401
解剖学実習室
EV
2413
実習室

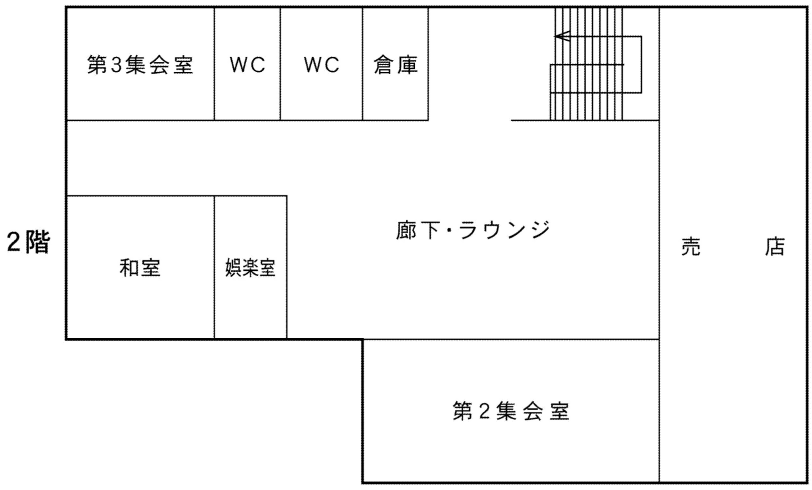
３・４・５号館平面図（１～２階）



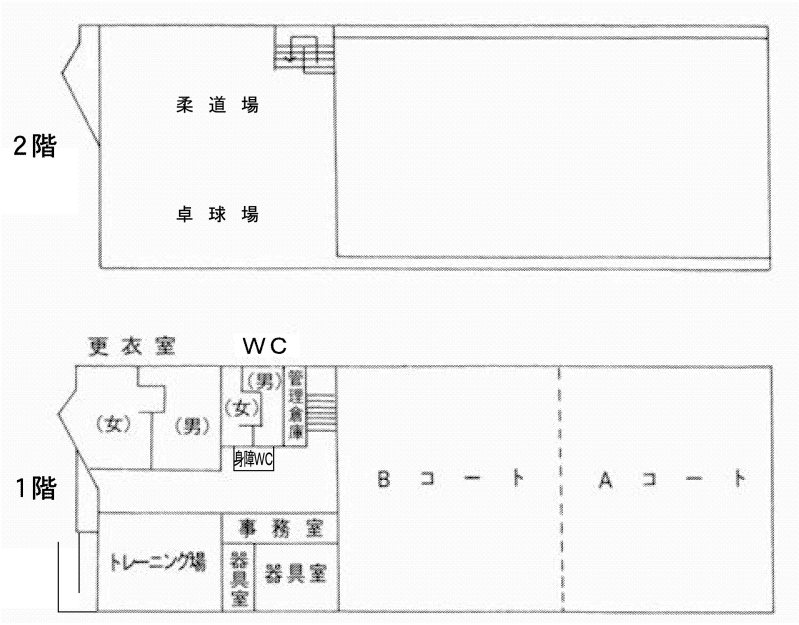
（補足）学務係は，平成 30 年 6 月以降は 1 号館（1120 事務室）に移ります。


4階
4408 シールドルーム
前 室
4409教員室
4410教員室
4411教員室
4412教員室
4413教員室
4414教員室
4415教員室
4407 検査技術科学実験室Ⅰ
4406 検査技術科学実験室Ⅱ
4404 検査技術科学実験室Ⅲ
4405 保管庫
4416 集会室Ⅱ
4402 バイオハザード実験室
4403 暗室
4417 教員室
便 所（男）
4401 倉庫
EV
便 所（女）
倉庫
リフレッシュコーナー
4418 共通ゼミ室
4425教員室
4424教員室
4423教員室
4422教員室
4419教員室
4420教員室
4421教員室
4号館
5305 院生実験室
5306 教員室
5307 教員室
5308 院生ゼミ室
5309 院生ゼミ室
5310 院生実験室
5311 院生実験室
4305 高齢者看護実習室
4306教員室
4307教員室
4308教員室
4309教員室
4310教員室
4311教員室
4312教員室
4313教員室
4314教員室
4315教員室
5304 院生研究室
5303 院生研究室
5302 院生研究室
5301 ゼミ室
ラウンジ
5316 倉庫
便所（男）
便所（女）
5315 院生研究室
5314 院生研究室
5313 院生研究室
5312 院生研究室
4304 教員室
4303サーバー室
4302 コンピュータ実習室
倉庫
便 所（男）
4301 倉庫
EV
便 所（女）
倉庫
4316 印刷室
4317 地域看護実習室
5号館
3階
和室コーナー
3310 看護実習室Ⅲ
浴室
3311 看護実習室Ⅱ
3312 看護実習室Ⅰ
1号館へ
3309 教員室
3308 教員室
3307 教員室
3306 教員室
3305 教員室
3304 教員室
3303 洗濯乾燥室
3302 看護実習器材室
3301 教員室
リフレッシュコーナー
3号館
4号館

福利施設棟平面図



金沢大学小立野体育館平面図



平成３０年４月

金沢大学医薬保健系事務部

保健学支援課学務係

〒920-0942　石川県金沢市小立野５-１１-８０
TEL（０７６）２６５－２５１４～２５１７
FAX（０７６）２３４－４３５１
E-mail　t-igaku2@adm.kanazawa-u.ac.jp